

第 2 章

大洲城天守閣復元事業

第一節 委員会等の組織

市では、平成八年七月三十一日、大洲城天守閣復元委員会を組織した。これは、平成八年五月、大洲城天守閣再建検討委員会（平成六年十月発足）で「大洲城天守閣は建築基準法第三十八条の建設大臣の認定により純木造で復元が可能」となる旨が報告されたため、本格的な木造による復元に向け体制を強化したものである。初代委員長は、桒田與一大洲市長が務め、顧問に宮上茂隆氏を迎え入れた。第二回目から商工会議所会頭の村上五郎氏が委員長を務め、第四回目から同じく会頭の井関和彦氏が引き継ぎ、最終の委員会まで委員長を務めた。また、平成十年三月三日、各分野を専門的に検討するため復元委員会の下部組織として専門委員会を組織した。専門委員会は、保存管理、建設、募金、募木の四専門委員会とした。さらに、平成九年七月一日、庁内の職員で構成する大洲城天守閣復元推進班を設置した。推進班は、事業実施に伴う諸課題の調査・研究を行った。なお、各委員会の事務局は、市商工観光課が担当した。

各委員会の開催期日と主な議事内容は別表のとおりである。



第12回大洲城天守閣復元委員会の様子
使用する瓦の紋様を検討した。



第1回大洲城天守閣復元委員会の様子

大洲城天守閣復元委員会及び専門委員会の開催と主な議事内容

委員会の名称	期 日	主な議事内容
第1回大洲城天守閣復元委員会	平成8年7月31日	市制施行50周年となる平成16年完成に向け、史実に基づいた木造での大洲城天守の復元を目指す。
第2回大洲城天守閣復元委員会	平成9年6月26日	専門委員会、復元班会の設置、大洲城跡保存整備範囲、かわら版復元大洲城の連載、募金活動の展開について検討。
第3回大洲城天守閣復元委員会	平成10年1月19日	専門委員の選出、スケジュール、大洲城跡保存整備計画等について検討。
専門委員会委員委嘱式	平成10年3月3日	専門委員委嘱
第4回大洲城天守閣復元委員会	平成10年6月1日	事業進捗状況の確認、城跡内樹木調査の報告、専門委員会での審議事項について検討。
第5回大洲城天守閣復元委員会	平成10年11月9日	ボーリング調査結果、発掘調査の準備状況、基本設計の進捗状況、市内銘木（高齢林）調査結果等について報告、承認。
第6回大洲城天守閣復元委員会	平成11年4月22日	発掘調査現地視察。基本設計の完了について報告、承認。建築工事費13億円、募金目標額5億円について承認。
大洲城天守閣保存管理専門委員会	平成11年5月26日	大洲城跡樹木整備計画について検討。
大洲城天守閣募金専門委員会	平成11年5月28日	募金目標額5億円の内訳について決定。
大洲城天守閣建設専門委員会 大洲城天守閣募木専門委員会	平成11年6月3日	基本設計をもとにした木材調書の確認。
大洲城天守閣保存管理専門委員会	平成11年7月5日	大洲城跡樹木整備計画について現地視察を行い、具体的に検討。
大洲城天守閣募木専門委員会	平成11年12月22日	具体的な木材調達先を検討。地元材をできるだけ調達することで一致。
第7回大洲城天守閣復元委員会 大洲城天守閣募金専門委員会	平成11年12月24日	発掘調査結果、募金状況、第1次樹木整備計画、募木活動状況、御杣始め式の開催予定について報告、承認。
第8回大洲城天守閣復元委員会・専門委員会	平成12年7月31日	建築基準法3条により復元を進めることについて報告、承認。
大洲城天守閣建設専門委員会 大洲城天守閣募木専門委員会	平成12年9月29日	建築基準法3条の詳細、実施設計に伴う高さ・床面積の変更、石垣耐力度調査結果、木曽材の調達について報告、承認。
大洲城天守閣保存管理専門委員会	平成12年11月22日	現状変更申請状況、石垣耐力度調査結果、高さ・床面積の変更について報告、承認。
大洲城天守閣保存管理専門委員会 大洲城天守閣建設専門委員会 大洲城天守閣募木専門委員会	平成13年2月5日	外構工事計画の素案、木材調達状況について報告、承認。
大洲城天守閣募金専門委員会	平成13年5月14日	大口募金推進委員の設置を承認。
第9回大洲城天守閣復元委員会 大洲城天守閣建設専門委員会	平成13年6月8日	建築基準法3条適用により復元が可能となったことを報告。第2次樹木整備計画について承認。
大洲城天守閣保存管理専門委員会 大洲城天守閣募木専門委員会	平成13年7月16日	天守台石垣改修計画、第2次樹木整備計画、台所櫓内の受付設置について承認。御用木お披露目式の開催について承認。
大洲城天守閣大口募金推進委員会 大洲城天守閣募金専門委員会	平成13年7月31日	大口募金推進委員の委嘱。活動日程、依頼先、趣意書（カラー）の作製等について承認。
大洲城天守閣大口募金推進委員会	平成13年8月17日	市内大口募金活動の具体的な日程、班分けを検討。
大洲城天守閣大口募金推進委員会	平成13年11月12日	市内大口募金活動の状況報告。市外依頼先の検討。
第10回大洲城天守閣復元委員会	平成14年1月25日	大洲城天守閣復元イベント実行委員会を組織することについて承認。
第11回大洲城天守閣復元委員会	平成14年5月9日	木曳き式の開催、瓦記名会の開催について承認。
第12回大洲城天守閣復元委員会	平成14年9月11日	瓦紋様を蛇の目瓦とすることで決定。
大洲城天守閣復元委員会・専門委員会現場見学会	平成14年11月13日	復元工事現場を見学。
大洲城天守閣大口募金推進委員会	平成14年11月29日	大口募金活動報告、市外大口募金活動について検討。
大洲城天守閣建設専門委員会	平成15年1月30日	天守3階内部の壁の仕上げ及び棟瓦の設計変更について承認。
第13回大洲城天守閣復元委員会	平成15年5月23日	外構工事等周辺整備について承認。
第14回大洲城天守閣復元委員会・専門委員会	平成16年1月19日	大洲城天守閣管理計画について承認。
大洲城天守閣保存管理専門委員会	平成16年2月13日	第3次樹木整備の現地視察を行い、承認。サイン計画承認。
第15回大洲城天守閣復元委員会	平成16年5月24日	完成記念行事等について承認。
大洲城天守閣復元委員会・専門委員会解散式	平成16年11月22日	復元委員及び専門委員長への感謝状贈呈。

平成十六年十一月二十二日委員会解散時の大洲城天守閣復元委員及び
各専門委員は以下のとおりである。

【大洲城天守閣復元委員会】 二十四名

委員長	大洲商工会議所会頭	井関和彦
副委員長	大洲市観光協会会長・大洲市議会議員	小泉紘文
副委員長	大洲史談会長	中川一生
委員	大洲市議会議員	大森隆雄
委員	大洲市議会議員	吉岡昇平
委員	大洲市議会議員	清水久二博
委員	大洲市公平委員長	栗田康丸
委員	大洲市社会福祉協議会長	近田宣秋
委員	大洲市校長会長	土居義彦
委員	大洲市区長会長	尾上清則
委員	大洲市公民館連絡協議会長	山本敏和
委員	愛媛たいき農業協同組合長	山本 薫
委員	大洲市文化協会会長	久保幸信
委員	大洲市連合婦人会長	三好康子
委員	大洲市老人クラブ連合会長	往田千鶴亀
委員	前大洲市文化財保護審議委員会副委員長	稲田實留
委員	大洲青年会議所理事長	弓達秀樹
委員	大洲市PTA連合会長	矢野一友
委員	大洲市連合青年団長	川口裕二
委員	大洲市森林組合長	窪田亀一
委員	大洲市助役	松井 健

委員 大洲市収入役
委員 前大洲市教育委員会教育長
顧問 大洲商工会議所顧問

【大洲城天守閣保存管理専門委員会】 七名

委員長	大洲史談会副会長	今井一行
副委員長	大洲市文化財保護審議委員	土居泰正
委員	大洲の将来を考える会会長	宮下利秋
委員	大洲商工会議所事務局長	木内 進
委員	大洲市観光協会副会長	北本 宏
委員	大洲商工会議所青年部会長	富永憲司
委員	大洲市教育委員会生涯学習課長	水井政信

【大洲城天守閣建設専門委員会】 六名

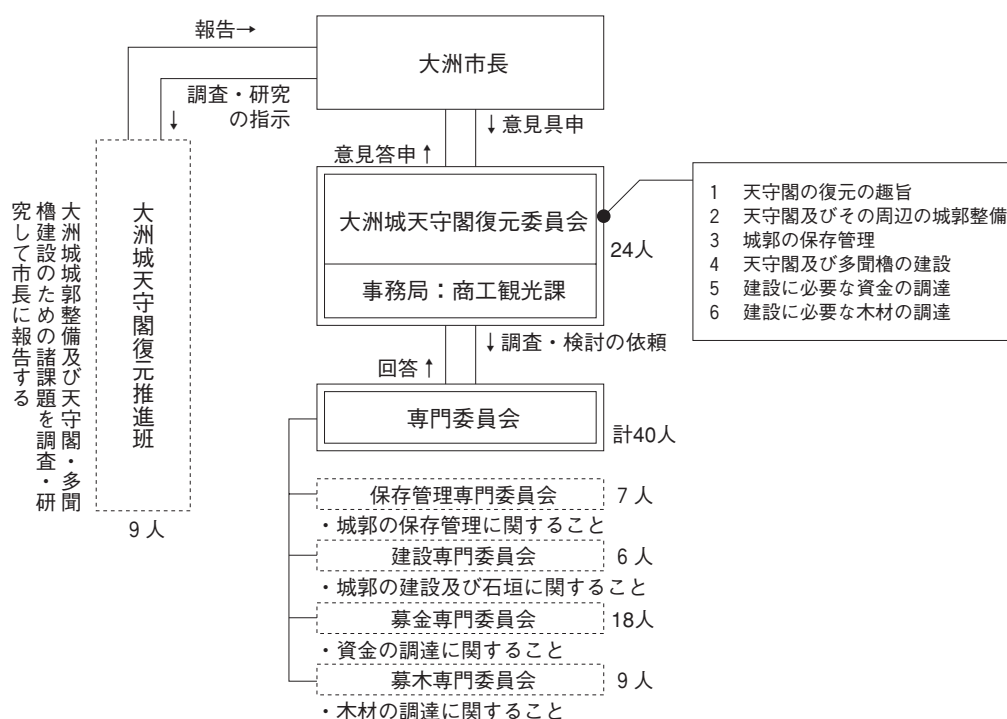
委員長	愛媛県建築士事務所協会副会長	柿本五月
副委員長	愛媛県建築士会大洲支部長	菅野隆次
委員	愛媛県建設業協会喜多支部副支部長	村上五郎
委員	愛媛県建築士会大洲支部事務局長	和田 博
委員	大洲市都市整備課長	城戸良一
委員	大洲市建設課長	矢畑満芳

【大洲城天守閣募金専門委員会】 十八名

委員長	大洲商工会議所副会頭	松田芳文
副委員長	愛媛たいき農業協同組合常務理事	成岡安善
副委員長	前大洲市連合婦人会副会長	梅林鶴子

委員	大洲金融協会長	加藤修
委員	久米区長会長	豊川功
委員	肱北区長会長	森本包
委員	喜多区長会長	一宮保
委員	平区長会長	梅崎清
委員	平野区長会長	今井要
委員	南久米区長会長	河野靖
委員	菅田区長会長	西岡幸
委員	大川区長会長	松岡昇平
委員	柳沢区長会長	徳田哲雄
委員	新谷区長会長	村上恒夫
委員	三善区長会長	矢野俊和
委員	八多喜区長会長	水成好春
委員	上須戒区長会長	上田裕穂
委員	大洲市会計課長	滝野弘志
【大洲城天守閣募木専門委員会】 九名		
委員長	篤林家	信高武雄
副委員長	(株)向井木材	藤山勉
委員	大洲市森林組合専務理事	石本盛雄
委員	愛媛県森林組合連合会大洲木材市売場所長	武田三徳
委員	前新谷公益会理事長	堀井常男
委員	三善地区山林管理組合長	石田毅
委員	柳沢産業観光開発委員会委員長	宮本喜一郎
委員	(株)伊予木材	平塚延久

大洲城天守閣復元に係る組織図



委員 大洲市農林課長

松岡良明

第二節 県指定史跡「大洲城跡」保存整備計画

市では、貴重な歴史的文化遺産である大洲城跡を適切に保全し、史実を重視した整備を図り、後世へむけて伝承しかつ活用することにより、歴史と文化のかおり高い地域社会を形成していくことを基本理念に、平成八年度から九年度にかけて県指定史跡「大洲城跡」保存整備計画を策定した。（計画書発行・平成十年五月）本計画の策定にあたっては、大洲城天守閣復元委員会の意見をまとめ、文化庁建造物課及び愛媛県教育委員会文化財保護課に指導を受けた。

本計画では、計画実現のために周辺の土地利用、用途規制、道路・公園計画などと調整を図ることが必要であることから、大洲市総合計画や大洲市都市計画基本構想など上位計画、その他各種計画との整合性を図った。（第一章）また、大洲城の歴史、構造、史料、現況等学術的な調査、考察を宮上茂隆氏が行った。（第二章）これら第一章・第二章を踏まえ、市にとって最も有用な大洲城跡の整備方針を計画した。（第三・四章）本計画において、天守及び多聞櫓の復元は、天守雛形や明治時代の写真等によりその外観や構造が明らかであり、かつ歴史的価値が非常に高いため、他の建造物に先立ち実施することとした。

以下は、本計画の構成である。

〈県指定史跡「大洲城跡」保存整備計画〉（かわら版第二十四号）

第一章 大洲市のまちづくりと城跡整備計画

一 大洲市の概要

二 計画策定の経過

- 城跡及びその周辺の整備経過
- 大洲市まちづくり委員会による旧大洲城天守閣復元計画
- 市制施行四十周年記念事業の一環として
- 県指定史跡「大洲城跡」保存整備計画策定の目的

三

- 大洲市総合計画との関連
- 大洲市都市計画基本構想との関連
- 肱南地区まちづくり計画との関連
- 大洲市の文化財の保存と活用
- 大洲市の固有資源

第二章

一 大洲市の将来計画の中における肱南地区の位置付け

- 大洲城の構造と沿革並びに城跡の現況
- 大洲城の沿革―築城と修復

二

- 築城
- 藩政期の修復

三

- 大洲城跡の変遷―廃城と建物の解体
- 大洲城の構造

四

- 大洲城の構造基本構成
- 建物（門・堀・櫓・御殿・天守）

五

- 大洲城の資料
- 史跡指定と現存指定建造物

六

- 城跡の現況
- 残存遺構（堀・石垣）と破損状況

七

- 周辺城跡等の分布状況
- 城山公園の利用状況

第三章

一 基本方針

- 植生状況
- 現況の問題点
- 城跡保存整備計画

○ 基本理念

○ 調査・整備・修景の必要性

○ 建物復元

○ 公開施設整備

○ 管理運営

二 整備基本計画

○ 整備方針

○ 空間整備計画

○ 全体整備計画

・ 植栽計画

・ 展示施設計画

・ 公園施設計画

・ 導入路・駐車場計画

・ 防災計画

三 整備事業計画

○ 事業範囲

・ 事業イメージ

・ 公園施設計画

・ 城跡への導入路・駐車場

・ 施設管理

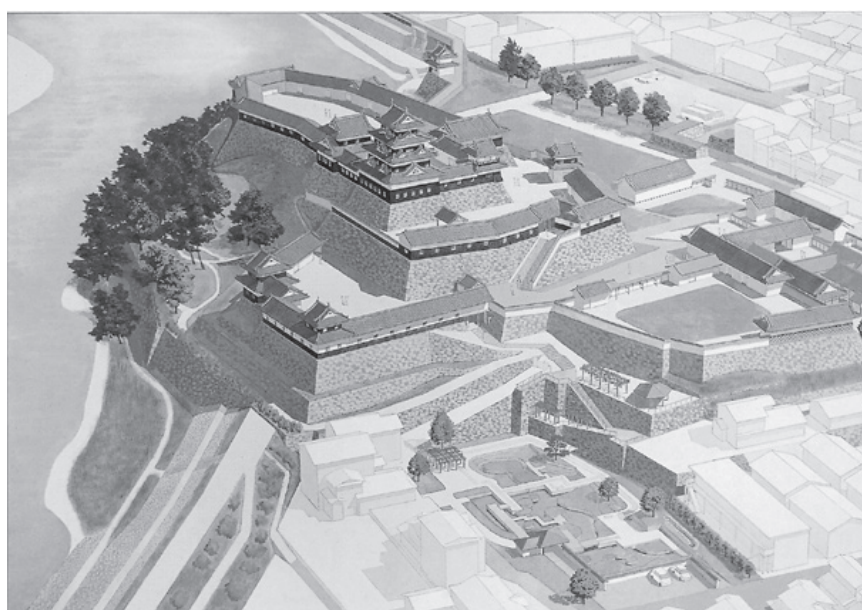
・ 防災管理

第四章

一 段階整備

- 石垣修復計画
- 復元事業計画
- 発掘調査計画
- 事業プログラム

二 年次計画



長期計画でみる大洲城跡保存整備計画全体完成予想図

第三節 大洲城跡樹木整備

市では、県指定史跡「大洲城跡」保存整備計画に基づき、平成十一年十月大洲城跡樹木整備計画を策定し、平成十一年度、十三年度、十五年度と三回に分けて全体の約一割の樹木の伐採を実施した。

一 大洲城跡樹木整備計画

1 趣旨

大洲城跡は、明治以来全体構想のないままに改修整備が実施されてきたため、雑然とした状況にある。先に策定した県指定史跡「大洲城跡」保存整備計画の実施にあたり、現在の城跡内の生態系を守りながら、城跡に影響を及ぼしている樹木、遠望・内部景観を阻害している樹木を指定し、計画的に伐採する。

また、今回の天守閣復元事業により、その工事過程で伐採の必要があるものについても検討を加え、計画的に整備を図る。

2 樹木調査（株式会社愛媛地域総合研究所による調査）

① 調査概要

平成九年度に愛媛大学農学部で組織する(株)愛媛地域総合研究所に委託し、城跡内にある樹木を個体ごとに所在位置、樹種名、樹高、活力度などについて調査した。（かわら版第二十五～二十八号）

② 樹木の実態

本丸を始めとする平坦地の樹木は、そのほとんどが修景用に植栽さ

れた孤立木である。樹木が集団となって生育していて樹林と呼べる区域は、三の丸水の手曲輪斜面と本丸下の東斜面だけである。この区域で量的に多い樹種はイロハモミジ、ソメイヨシノ、スギで、このうちイロハモミジとソメイヨシノは、戦後数回にわたって、またスギは、明治時代の末期～大正期頃に大部分が植栽されたものと推定される。なお、天然性の樹木ではエノキが最も多い。この区域内の樹木の樹種構成と直径級からみて、後に天然で生立した樹木があったとしても、繰り返し伐採が行われたものと推測され、直径生長量から判断すると、古くても江戸時代末期頃に肱川沿いの川端にあったエノキなどの小径木が、現在の大木となって残存しているものと考えられる。

以上のことから、近世城郭を形成した樹木は、大洲城跡にはエノキなどしか残存しておらず、現存する樹木のそのほとんどが無秩序に、公園用に植栽されたものと見なすことができる。

③ 調査結果

今回の調査では城跡管理上、好ましくない樹木について次のような大まかな項目を設け、伐採を必要とする樹木の指定を行った。

○ 石垣に影響を及ぼしていると想定される樹木

○ 枝葉が石垣及び櫓の景観を阻害していると想定される樹木

○ 城郭の内部景観上、および将来周辺からの城跡城郭の景観を阻害することが予想される樹木

なお、これらの樹木の詳細については、「大洲城周辺樹木整備に伴う現況及び整備予測調査業務報告書」に記載している。

3 伐採樹木の指定

伐採樹木の指定は、大洲城天守閣復元委員会及びその下部組織である

大洲城天守閣保存管理専門委員会で(株)愛媛地域総合研究所の調査結果をもとに行った。

その結果、城跡保存、景観保全に細心の注意を払いながら、次のような七つの詳細な伐採理由項目を設け、これらに該当する樹木について伐採を行うこととした。

- ① 枯れ、腐れ、虫害などで異常のある樹木
- ② 石垣に影響を及ぼしているか、及ぼす恐れのある樹木
- ③ 大洲城跡を東西南北の四方向から見て枝葉が石垣、天守閣、櫓の景観、遠望を阻害している樹木
- ④ 城跡内部からの眺望を阻害している樹木
- ⑤ 城跡の内部景観、美観を阻害している樹木
- ⑥ 生長に伴い、将来城跡(天守閣、櫓、石垣)の遠望を阻害する恐れのある樹木
- ⑦ 天守閣の復元工事過程において撤去が必要となると思われる樹木

4 伐採時期

城跡内の樹木伐採については、自然生態系になるべく影響を与えないよう、できるだけ慎重に行う必要があることから、次のように段階的に伐採を行うこととした。

① 第一次伐採時期(平成十一年度)

枯れ、腐れ、虫害などで異常のある樹木、石垣に影響を及ぼす樹木で伐採の緊急性を要する樹木について、平成十一～十二年度に調達する天守閣の用材として使用できそうな樹木について、平成十三年度に行う石垣調査・工事に支障をきたす樹木について伐採を行う。

② 第二次伐採時期(平成十三年度)

平成十四年度から着工する天守閣本体工事に支障をきたす樹木について、石垣に影響を及ぼす樹木、景観を阻害する樹木について伐採を行う。

③ 第三次伐採時期(平成十五年度)

第一次、第二次期に伐採しない樹木で遠望を阻害する樹木について天守閣の遠景を考慮しながら伐採を行う。

二 樹木整備の実施

樹木整備の実施は、大洲市森林組合に委託して実施した。伐採した樹木の本数は、城跡全体の樹木一、九〇五本のうち全体の約一割の二一九本となった。

三 樹木整備の経過

平成十年三月

・ 大洲城周辺樹木整備に伴う現況及び整備予測調査業務報告書発行
平成十一年五月二十六日

・ 大洲城天守閣保存管理専門委員会で大洲城跡樹木整備計画について

検討

平成十一年七月五日

・ 大洲城天守閣保存管理専門委員会による現地調査、承認

平成十一年十月

・ 大洲城跡樹木整備計画策定

平成十一年十二月十六日

・愛媛県教育委員会より第一次樹木整備計画の実施について現状変更許可

平成十一年十二月二十四日

・大洲城天守閣復元委員会で第一次樹木整備の実施について承認

平成十二年三月十五日～二十五日

・第一次樹木整備の実施（一四本の伐採）

平成十三年七月十六日

・大洲城天守閣保存管理専門委員会で第二次樹木整備の実施について承認

平成十三年十二月七日

・大洲市教育委員会より第二次樹木整備計画の実施について現状変更許可

平成十三年十二月十日～二十五日

・第二次樹木整備の実施（九六本の伐採）

※本丸井戸曲輪南側の樹木八五本は、工事の進捗に合わせ伐採

平成十六年二月十三日

・大洲城天守閣保存管理専門委員会による現地調査、承認

平成十六年三月三日

・大洲市教育委員会より第三次樹木整備計画の実施について現状変更許可

平成十六年二月二十四日～三月十七日

・第三次樹木整備の実施（二四本の伐採）



第3次樹木整備の様子

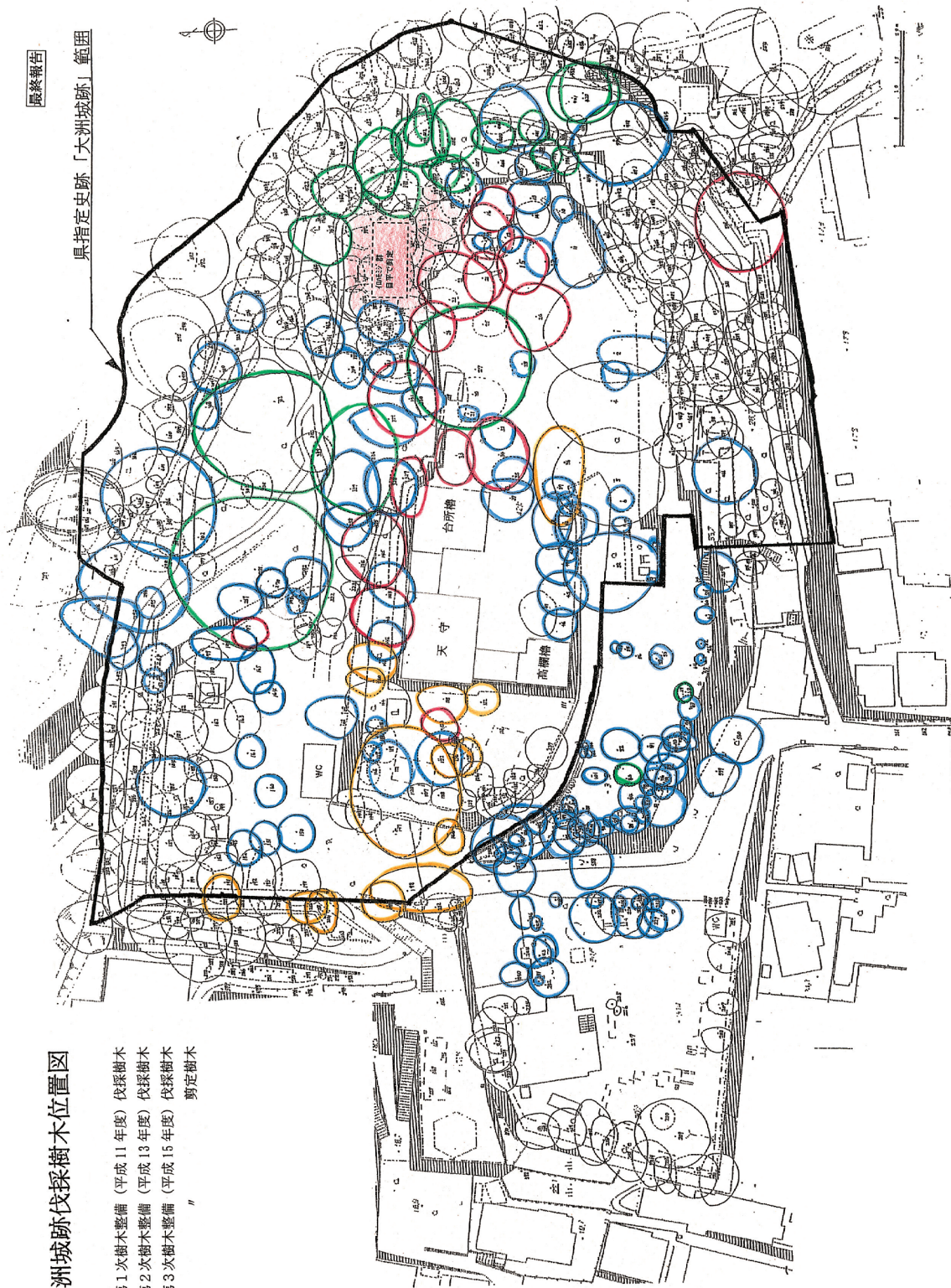


保存管理専門委員会による現地調査
(H16.2.13)

県指定史跡「大洲城跡」範囲

大洲城跡伐採樹木位置図

- 第1次樹木整備 (平成11年度) 伐採樹木
- 第2次樹木整備 (平成13年度) 伐採樹木
- 第3次樹木整備 (平成15年度) 伐採樹木
- "
- 剪定樹木



第四節 木材の調達

一 市内高齢林の調査

平成十年十月、市内で調達可能な木材量を把握するため、大洲市森林組合に委託し、市内の高齢林（樹齢八十年以上）の調査を行った。調査の結果、胸高直径五十cm以上の大径木は少なく、杉よりも桧林が多いことが判明した。

二 木材の調達

木材の調達は、伐採した後、乾燥期間が必要なことから、木工事着手の三年前となる平成十一年度から開始した。業務の実施は、市内の木材事情に詳しい大洲市森林組合に委託した。業務内容は、所有者との交渉、選別、伐採、枝葉処理、搬出、運搬、乾燥、保管、製材等全ての業務を委託した。木材調達に要する費用は、建築工事費約十三億円のうち約四億五千万円を要した。木材の調達先は、大量に木材が集積する全国有数の木材市場等を安易に選定せず、できるだけ市内の高齢林から調達することとし、市民手作りの天守復元の実現に努めた。市内で調達不可能な木材は、全国の木材事情を調査した結果、長野県にある中部森林管理局所管の木曽桧（国有林）が適していると判断し、平成十二年十月に陳情書を提出して残りのほとんどを調達することとした。

三 募木活動

募金活動と平行し、木材の寄付を募集する募木活動を実施した。寄付をいただいた木材は、できるだけ天守に使用する百三十八本の柱材に充てることとした。幸いにも天守の心柱二本は、大洲藩主加藤家の菩提寺である如法寺（大洲市柚木）と増田眞吉氏（大洲市五郎）から寄付いただいた地元桧を使用することができた。また、柱材の九割が地元材（寄付木、購入木ともに混在）で賄うことができた。さらに、これら天守の柱材全ての調達場所を記録し、天守内部で展示・公開することとした。

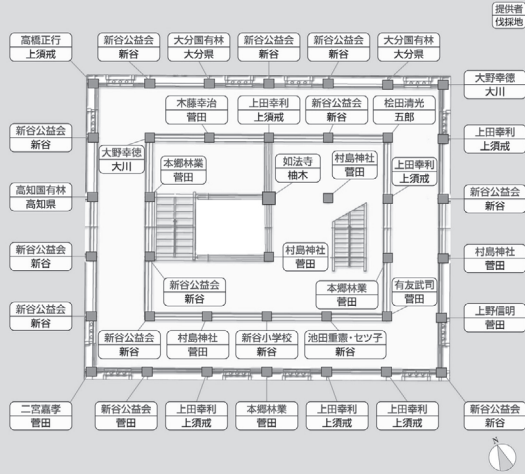
寄付者 二七人

本数 五七七本（樹種、樹齢、大きさ多様）

評価額 一、六八〇万円

Wooden Pillars for the 2nd Floor

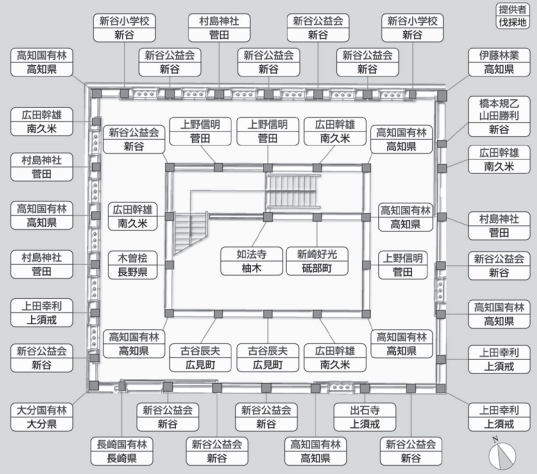
提供者
伐採地



A circle with a shaded sector. The sector is formed by two radii and an arc. The angle between the two radii is labeled θ .

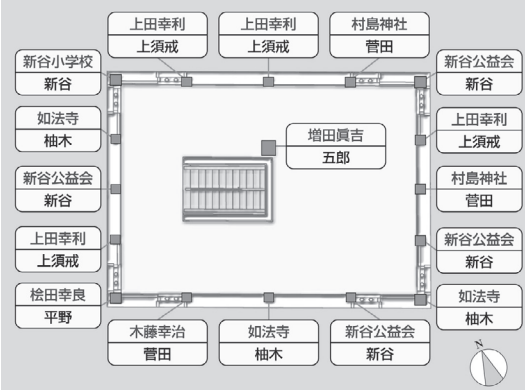
Wooden Pillars for the 1st Floor of the Main Tower

提供者	伐採地
-----	-----



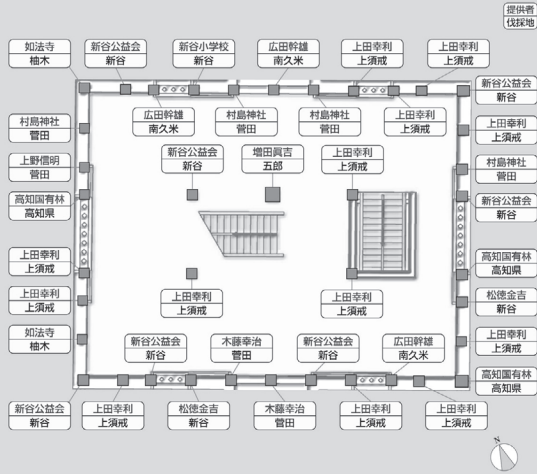
Wooden Pillars for the 4th Floor

供さ



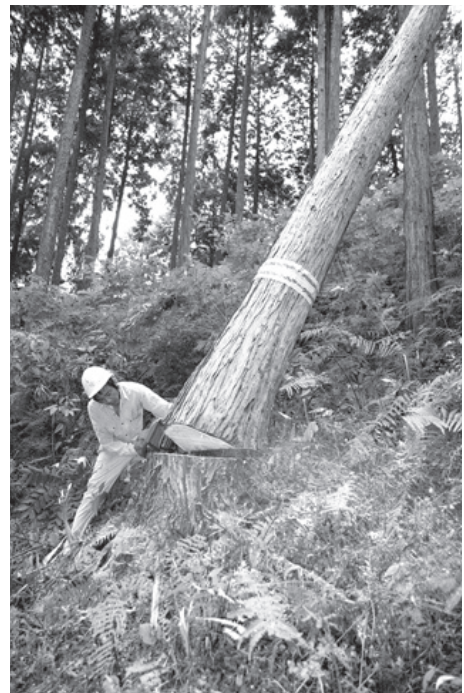
Wooden Pillars for the 3rd Floor

ての柱





木材保管倉庫に集積された大洲材



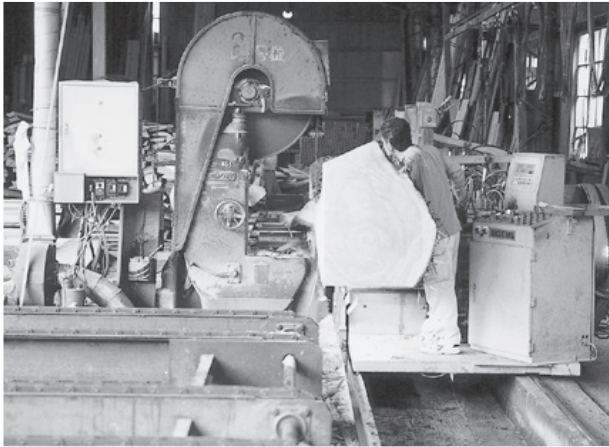
大洲材の伐採の様子



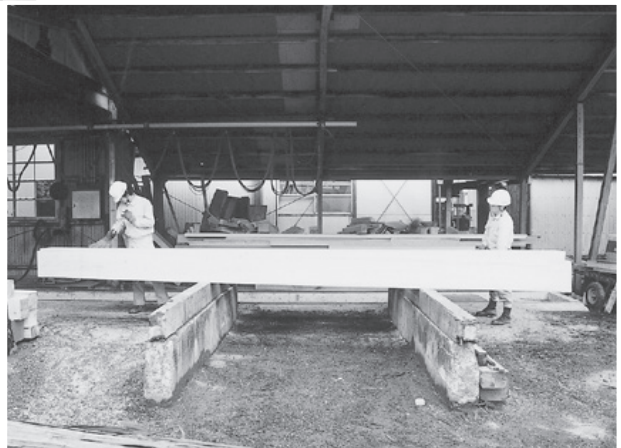
集積された木曽檜



集積された秋田栗



大洲材の製材の様子



大洲材にひび割れ防止剤を塗る様子



木曽材の検品の様子



合格材には合格印を押印した



合格印には木材調書番号を記入した



募木専門委員会の視察の様子
(H13.7.16)



大洲材検査写真



木曽材検査写真

第五節 募金活動

七二、八九六、一〇〇円（一二、八七九件）

一 基金の設置

大洲市が市制施行四十周年を迎えた平成六年、大洲市まちづくり委員会等の報告により、機運の盛り上がっていた天守閣の再建を市制施行五十周年に実現させようという提案がなされた。これにより、市では平成六年六月定例市議会に「大洲城天守閣再建基金条例」を提出し、議決された。平成十年四月「大洲城天守閣復元基金条例」に名称を変更し、平成十六年十二月まで基金を設置した。

期間 平成六年六月二十八日から平成十六年十二月三十一日まで
金額 五二八、一一三、四〇八円（二一、五八四件）

二 募金活動

平成十一年三月、基本設計が完了し、建築工事費が約十三億円と算出された。これを受けて市では、平成十一年四月、募金の目標額を五億円とすることを提案し、大洲城天守閣復元委員会です承された。（かわら版第三十六号）

1 一般世帯募金

平成十一年から十五年までの五年間、市内の各世帯から一世帯当たり一万円を目標に募金活動を行った。募集期間は、各年の九月から十一月までとし、各行政区の区長が募金の取りまとめを行った。

2 企業・団体募金

平成十三年七月三十一日、市内外の有力企業等に対して募金活動を行うため大洲城天守閣復元委員会・専門委員会の委員らで大洲城天守閣大口募金推進委員を組織した。

① 市内大口募金活動

平成十三年十一月から平成十五年二月にかけて、委員を三班に分け、約二百五十の市内企業に大口募金活動を実施した。

② 県内大口募金活動

平成十五年三月から平成十六年一月にかけて、約五十の県内企業（松山市、伊予市、喜多郡、八幡浜、宇和島）に大口募金活動を実施した。県内の活動は、主に井関委員長と松田募金専門委員長が担当した。

二三五、八二六、〇〇〇円（三五七件）

3 市職員募金

平成十一年六月から平成十六年十二月までの六年間、年二回六月と十二月に三千円ずつ合計三万六千円を目標に市職員に募金活動を行った。

二〇、八〇五、九六〇円（五、四四四件）

4 特別寄付金

1 の一般世帯募金とは別に市内の篤志家の方々からご寄付を頂いた。
六六、一〇九、九〇九円（四〇九件）

5 市外在住者募金

関東地区、関西地区の大洲出身者を中心に各高校の同窓会を通じて呼び掛けを行うなど募金活動を実施した。

四五、八二〇、三三五円（三五一件）

6 瓦記名募金

平成十五年四月から八月末まで大洲城に実際に使用する瓦（平瓦）に、一枚二千円で自分の名前や夢などを墨書きしてもらうイベント募金を実施した。市役所ロビーで常時受け付けしたほか、市内の全連絡所出張記名会を実施した。また、平成十五年四月五日・六日、八月十四日・十五日に開催した一般見学会でも瓦記名会を実施した。

五、八五六、〇〇〇円（二、一〇七件）

7 その他

① 募金箱

平成十四年四月から平成十六年十一月まで大洲まちの駅の観光案内所に募金箱を設置した。また、一般見学会でも臨時的に設置した。

一八五、七一一円（一一件）

② 預金利子

基金運用における利子

一、六一三、三九三円（一八件）

③ 積立金

平成六年、平成九年～十五年の八年間で、市の一般会計予算の不用額の一部を年度末に一千万円ずつ積み立てたもの

八〇、〇〇〇、〇〇〇円（八件）

三 高額寄付者の顕彰

総額で十万円以上の高額寄付者を北多聞槽内で銅板に刻み顕彰した。



大口募金推進委員の委嘱
(H13.7.31)



瓦記名会の様子

第六節 P R活動とイベントの実施

一 P R活動

本事業のP Rを図るため次のような活動を行った。

1 かわら版の連載

大洲城に関する情報をA4サイズ用紙にまとめた「かわら版復元大洲城」を作成し、第一号（平成八年九月）から第十一号（平成九年七月）までは、市内各戸へ配布した。第十二号（平成九年八月）から第九十七号・最終号（平成十六年九月）までは、広報紙面上で毎月連載した。また、市役所ロビーで全号を無料配布した。なお、本書に全号を掲載した。

2 観光名刺の作製

平成十年四月、大洲市観光総合宣伝事業の観光名刺に大洲城をデザインし、P Rを図った。平成十三年四月から新デザインを追加。平成十六年八月から完成写真のみのデザインに統一した。

3 ポスター（版画）の作製

平成十二年三月、五十崎町在住の版画家、山田清昭氏によるデザインのP Rポスターを大洲和紙で百枚作製した。市内の各施設、県内の文化施設等に配布した。

4 絵図・パズルの作製（かわら版第四十四号）

平成十二年三月、各千個ずつ作製した。市内の各公民館等にて各二千円で販売した。

5 エコーはがきの作製

平成十三年三月、ポスター（版画）と同じデザインで四国郵政局が五万枚作製した。価格は一枚四十五円。

6 市公式ホームページでの連載、ライブカメラの設置

（かわら版第七十六号）

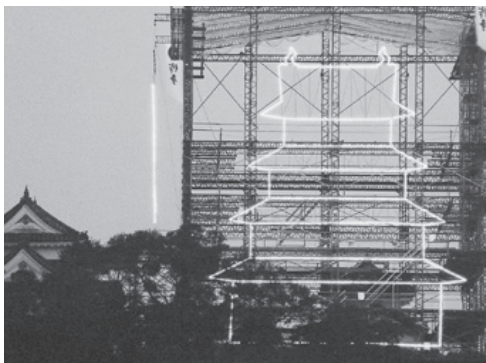
平成十三年八月以降、事業概要、イベント情報、工事の進捗状況など大洲城に関する情報を随時掲載した。平成十四年十月から工事現場内にインターネットライブカメラを2台設置し、工事の様子を全国各地からでも常時見ることができる環境を作った。多い日で一日百八十件の外部アクセスがあった。

7 パンフレット（趣意書）の作製

平成十三年八月、大口募金活動に合わせ、事業の概要や趣意書をまとめたパンフレットを一万部作製した。

8 イルミネーションの点灯

平成十四年八月三日、復元する天守の実寸大のイルミネーションを素屋根の北面・東面に設置し、大洲川



イルミネーションの点灯

まつり花火大会のオープニングで点灯開始した。素屋根を撤去する平成十六年五月まで毎晩点灯した。

9 年賀状の作製（かわら版第七十五号）

平成十四年十一月、大洲城年賀はがきを一万枚作製した。価格は一枚六十円。

10 一般見学会の開催と見学の受け入れ

完成してからは見ることでできない復元途中の様子をできるだけ多くの方に見学してもらおうと一般見学会（無料）を開催した。また、工事期間中随時、見学者の受け入れを行った。受け入れにあたり、現場内には見学者用の足場を設置し、安全の確保に努めた。



一般見学会の様子

① 一般見学会の開催

第一回一般見学会

○期 日 平成十四年十二月二十一日（土）、二十二日（日）

○参加者 一、八七三人

第二回一般見学会

○期 日 平成十五年四月五日（土）、六日（日）

○参加者 六、六一六人

第三回一般見学会

○期 日 平成十五年八月十四日（木）、十五日（金）

○参加者 二、九〇〇人

第四回一般見学会

○期 日 平成十五年十一月二十二日（土）、二十三日（日）

○参加者 二、六一六人

② 一般見学会の参加者内訳

合計人数 一四、〇〇五人

内 訳 市内の参加者 六、七五〇人（四八・二％）

県内の参加者 六、〇七八人（四三・四％）

県外の参加者 一、一七七人（八・四％）

③ 随時の見学受け入れ

見学者 六、一五五人（平成十五年十一月二十三日まで）

④ 工事見学者二万人達成

平成十五年十一月二十三日、工事見学者が二万人を達成した。二万人目の富原功さん（徳島市）には、用材で作った記念グッズを井関和彦復元委員長が贈呈した。

二 イベントの実施

本事業のPRと復元への機運を盛り上げるため次のようなイベントを実施した。

1 大洲城模型お披露目式（かわら版第十号）

①実施日 平成九年三月十八日

②主 催 大洲市

③内 容 大洲城の三十分の一外観模型が完成し、市役所ロビーでお披露目式を実施した。模型を製作した宮上茂隆氏が大洲城の特徴を説明した。模型は、市役所ロビーで常設展示した。

2 御杣始め式（かわら版第四十三号）

①実施日 平成十二年一月十二日

②主 催 木材納入業者・大洲市森林組合

③内 容 用材を山（杣）から初めて切り出す儀式を大洲藩主加藤家の菩提寺である如法寺で実施した。伐採した桧は、天守の心柱に使用した。参加者約二百人。

3 御用木お披露目式、手斧始め式（かわら版第六十四号）

①実施日 平成十三年九月三十日

②主 催 大洲市（手斧始め式は、施工業者・（株）間組四国支店主催）

③内 容 市内北只にある木材保管倉庫で用材のお披露目式を実施した。木材提供者を始め、関係者ら約二百人が参加し、地元で調達した木材や樹齢三百年を超える木曽桧などを見学した。



端材の販売の様子

11 端材の販売

第四回一般見学会と平成十六年八月のプレオープンで大洲城に実際に使用した木材の余り材（端材）を販売した。端材には大洲城の焼印を押印した。

12 一昼城（かわら版第九十五号）

平成十六年五月二十五日、素屋根の外側のシートを外し、短時間で天守の全容を出現させる「一夜城」ならぬ「一昼城」を施工業者の協力で実施した。鳶職人八人が作業を行い、わずか二時間ほどで天守の勇姿を出現させた。

4 起工式（安全祈願祭）（かわら版第六十八号）

①実施日 平成十四年二月五日

②主催 施工業者・（株）間組四国支店

③内容 大洲城本丸で安全祈願祭を執り行った後、蔵川芸能保存会が「地搗き音頭」を披露した。参加者約二百五十人。

5 木曳き式（かわら版第七十二号）

①実施日 平成十四年六月一日

②主催 大洲市・大洲城天守閣復元イベント実行委員会
共催 財団法人愛媛県市町村振興協会

③内容 大洲城天守閣に使用する木材を披露し、木材の加工作業の開始を祝う「木曳き式」を開催した。木曳き参加者約二百五十人、イベント客約二千人。

6 上棟式（かわら版第八十二号）

①実施日 平成十五年四月四日

②主催 施工業者・（株）間組四国支店

③内容 棟上まで木工事が無事完了したことへの感謝と、建築に携わる工匠の労をねぎらうための上棟式を実施した。関係者ら約二百人が参加した。

7 上棟イベント

①実施日 平成十五年四月五日、六日

②主催 大洲市・大洲城天守閣復元イベント実行委員会

③内容 上棟式の翌日から一般見学会や瓦記名会、もちまき、忍者

ショー、熱気球、野点、御城下屋台村など上棟を祝う各種イベントを実施した。一般見学会には約六千六百人が参加した。

8 完成記念式典（開門式）・イベント

①実施日 平成十六年九月一日～五日

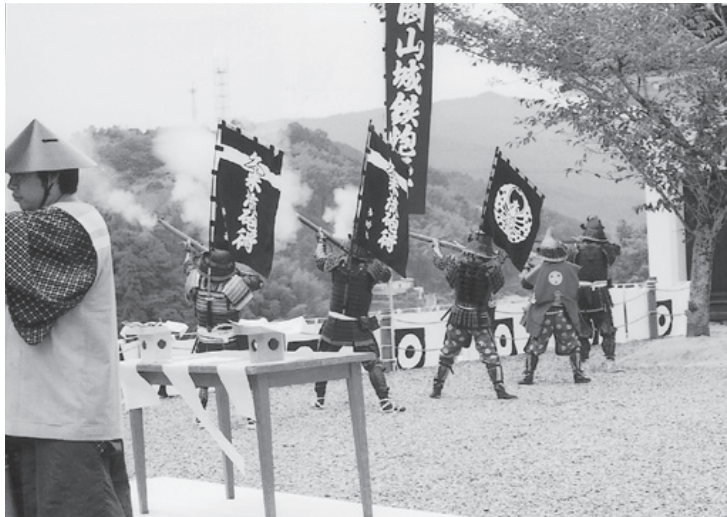
②主催 大洲市

③内容 市制施行五十周年の式典参加者を招待し、完成記念式典を実施した。開門式では、大阪城鉄砲隊の号砲により、天守への扉が開かれた。また、NHK朝の連続テレビ小説「おはなはん」（昭和四十二年）に出演した女優榎山文枝さんもイベントに参加し、大洲城の完成を祝った。三日間で約二千六百人が訪れた。

〈完成記念式典の様子〉



開門式の様子
榊田市長が開門の合図を行った



大阪城鉄砲隊による開門の号砲





大洲城に入城する参加者



大洲城の内部を観覧する参加者





女優の榎山文枝さんと榎田市長（左）



榎山さんもイベントに参加し完成を祝った

9 大洲城天守閣復元イベント実行委員会

平成十四年一月二十五日、木曳き式と上棟イベントの二大イベントを実施するため、大洲城天守閣復元イベント実行委員会を組織した。実行委員長は、大洲の将来を考える会会長の宮下利秋氏が務めた。イベントの実施にあたり、十五回の委員会を開催し、平成十五年九月二日に解散した。なお、事務局は、市商工観光課が担当した。

平成十五年九月二日委員会解散時の大洲城天守閣復元イベント実行委員会委員は、以下のとおりである。

委員長	大洲の将来を考える会会長	宮下利秋
副委員長	大洲青年会議所	井上正之
監事	大洲の将来を考える会	柿本五月
監事	大洲YEG・OBクラブ	猪川伸一郎
委員	まちづくりネットワーク	菅野隆次
委員	大洲の将来を考える会	中川義博
委員	まちづくりネットワーク	小谷順一
委員	商工会議所青年部	三根生啓太
委員	大洲スタンプ協同組合	太田一郎
委員	(株)おおず街なか再生館統括部長	河野達郎

第七節 文化財の申請・届出等

本事業の実施に伴い、文化財の現状変更許可申請等の手続きを行った。重要文化財「台所櫓・高欄櫓」及び県指定史跡「大洲城跡」の現状変更許可等一覧は別表のとおりであるが、ここでは天守の復元に伴う重要文化財及び県史跡の現状変更許可申請手続きについて報告する。

一 重要文化財台所櫓、高欄櫓の現状変更許可

天守の復元に伴い、天守と連結する重要文化財台所櫓、高欄櫓の現状変更許可申請を行った。

1 申請手続き

①申請日 平成十二年十月六日

②申請内容 重要文化財台所櫓、高欄櫓と復元天守を復元多聞櫓で接続する。これに伴い、両櫓に取り付く既存多聞櫓の一部を撤去する。

〔実施設計に伴う重要文化財の変更箇所及び変更理由書より〕

・台所櫓西面北寄りに取り付く既存多聞櫓の撤去及び新たな多聞櫓の復元

既存の多聞櫓は昭和四十五年の修理工事の際に台所櫓に残る痕跡や古写真及び各種の古絵図をもとに一部復元されたものである。

本来は古写真や古絵図が示すとおり台所櫓と天守を結ぶ多聞櫓である。大洲城天守の復元事業を進めるに当たっては天守本体だけでなく各櫓をつなぐ多聞櫓を復元してこそ、大洲城の姿を正しく再現することが可能となる。しかし既存多聞櫓は台所櫓から一間分直角方向に突き出しているだけで、台所櫓と天守の位置関係を考慮しておらず、現状の向きで天守まで復元するとなると石垣上からはみ出してしまふ。多聞櫓の柱位置も天守までの距離を考慮していないため誤りである。外観に関しても現在の下見板張り部分の高さは高く古写真と一致しない。また内部も昭和四十五年の「大洲城台所櫓・高欄櫓修理工事総合報告書」より床が張られていた事が明らかにされているが既存多聞櫓は土間仕上げのままである。以上の理由から既存多聞櫓は解体し、向き等を修正して新に復元する多聞櫓と接続し天守と台所櫓を結ぶものとする。

・高欄櫓北面西寄りに取り付く既存多聞櫓の撤去及び新たな多聞櫓の復元

既存の多聞櫓は同じく昭和四十五年の修理工事の際に一部復元されたものである。天守と高欄櫓の位置関係を考慮していないため台所櫓の場合と同様に石垣上にはみ出してしまふ。また既存多聞櫓の窓の位置は古写真と異なり、高欄櫓から六尺五寸の所に立つ多聞櫓の柱位置自体に誤りがある事が明らかである。内部の床仕上げに関しては痕跡が無く高欄櫓出入り口土台の塗籠跡から二間と推定されているが、大洲城内の建物の平面を詳細に示した「御城内御屋形絵図並地割」においては多聞櫓内は皆板敷きで表されており本来は板敷きであったと思われる。以上の理由から既存多

聞櫓は解体し、向き等を修正して新たに復元する多聞櫓と接続し
 天守と高欄櫓を結ぶものとする。

③提出書類

申請書、復元図、復元理由書、実施設計に伴う重要文化財の変更箇所及び変更理由書、現状配置図・復元配置図、小屋伏図・矩計図及び詳細図等による重要文化財との接続関係図、工事工程表、現況写真

2 許可及び現状変更の時期

①許可日 平成十二年十二月五日

②許可番号 委保第四の一七三号

③許可条件 特になし

④時期 平成十四年九月九日から平成十六年七月三十日まで



北多聞櫓解体前状況



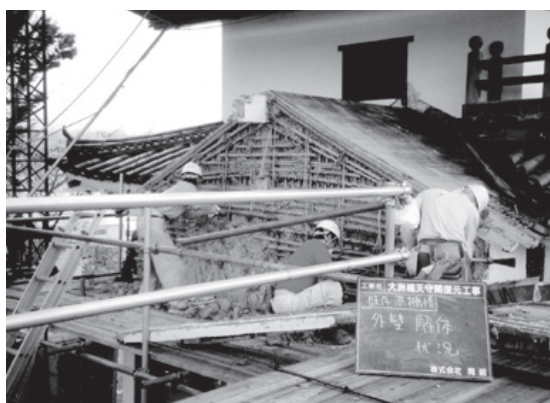
北多聞櫓解体作業状況



西多聞櫓解体作業状況



北多聞櫓解体作業状況



西多聞櫓解体作業状況



西多聞櫓解体前状況

二 県指定史跡大洲城跡の現状変更許可

天守の復元に伴い、史跡の現状変更許可申請を行った。

1 申請手続き

①申請日 平成十二年十月六日

②申請内容 県指定史跡大洲城跡に天守及び多聞櫓を復元する。

③提出書類 申請書、復元図、復元理由書、杭伏図・基礎伏図及び基礎断面図等による遺構との関係図、発掘調査遺構平面図等による遺構保存予定状況図、平面図・断面図及び立面図等による石垣との関係図、外構計画図、工事工程表、現況写真

2 許可及び現状変更の時期

①許可日 平成十二年十二月十一日

②許可番号 愛媛県教育委員会指令 教文財第七一五号

③許可条件
・復元する建造物の外観、構造については、現存する資料に基づき、史実に忠実なものとするともに、石垣、地下遺構への影響を最小限とすること。

・当該現状変更の事前に発掘調査を行うこと。

・当該現状変更の実施に当たっては、大洲市教育委員会（埋蔵文化財担当）の立会いを求めること。

④時期 平成十三年九月二十七日から平成十六年七月三十日まで

■重要文化財「大洲城台所櫓・高欄櫓」の現状変更許可等一覧

許可指令	番 号	許 可 日	現状変更等の内容	終 了 日
文化庁	委保第4の1173号	平成12年12月5日	台所櫓及び高欄櫓に取り付く多聞櫓の一部の撤去、新たな多聞櫓の復元、天守の復元	平成16年7月30日
文化庁	(届出のためなし)	平成15年7月28日届出	台所櫓及び高欄櫓の漆喰塗り直し等の修理	平成16年7月30日
文化庁	(届出のためなし)	平成16年6月2日届出	台所櫓内受付の設置等保存に影響を及ぼす行為	平成16年7月30日

■県指定史跡「大洲城跡」の現状変更許可一覧

許可指令	番 号	許 可 日	現状変更等の内容	終 了 日
愛媛県教育委員会	教文第806号	平成10年8月13日	ボーリング調査と樹木の伐採	平成10年10月30日
愛媛県教育委員会	教文第1111号	平成10年12月3日	発掘調査と樹木の伐採	平成12年1月31日
愛媛県教育委員会	教文第858号	平成11年12月16日	第1次樹木整備計画分の樹木の伐採	平成12年3月25日
大洲市教育委員会	社体第87号	平成12年8月18日	石垣耐力度調査の実施に伴う樹木(低木)の伐採	平成12年9月13日
愛媛県教育委員会	教文財第610号	平成12年8月31日	石垣耐力度調査の実施に伴う石垣基礎部の発掘調査	平成12年9月13日
愛媛県教育委員会	教文財第715号	平成12年12月11日	天守閣、多聞櫓の復元	平成16年7月30日
大洲市教育委員会	社体第78号	平成13年9月27日	石垣改修工事に伴う仮設足場の設置	平成13年11月9日
愛媛県教育委員会	教文財第715号	平成13年10月3日	石垣改修、積み足し工事の内容変更(石垣改修部分を2.6㎡に縮小)	平成16年7月30日
大洲市教育委員会	社体第945号	平成13年7月25日	石垣図化作業に伴う樹木の伐採	平成13年7月27日
大洲市教育委員会	社体第1117号	平成13年12月7日	第2次樹木整備計画分の樹木の伐採	平成13年12月25日
大洲市教育委員会	社体第1132号	平成13年12月20日	藤棚の撤去	平成13年12月25日
愛媛県教育委員会	教文財第886号	平成13年12月21日	現場事務所等の仮設置	平成16年8月25日
愛媛県教育委員会	教文財第912号	平成13年12月26日	設備工事に伴う配管埋設等工事	平成16年7月30日
大洲市教育委員会	社体第27号	平成14年1月22日	外柵の仮設置及び砂利の仮敷き	平成16年7月30日
大洲市教育委員会	社体第28号	平成14年1月22日	既存外灯及び関連柱の撤去	平成14年1月25日
愛媛県教育委員会	教文財第68号	平成14年2月8日	設備工事に伴う配管埋設等工事の内容変更(遺構の検出に伴う路線等の変更)	平成16年7月30日
大洲市教育委員会	社体第14号	平成14年2月10日	天守台周りの外柵の仮設置	平成16年7月30日
愛媛県教育委員会	教文財第180号	平成14年3月28日	設備工事に伴う配管埋設等工事の内容変更(遺構の検出に伴う路線等の変更)	平成16年7月30日
大洲市教育委員会	第52号	平成14年6月3日	石垣積み足し工事に伴う移動式足場の設置	平成14年7月6日
愛媛県教育委員会	教文財第342号	平成14年6月6日	天守閣復元工事、石垣積み足し工事の内容変更(天端高さの変更と基礎地中梁の変更)	平成16年7月30日
大洲市教育委員会	第70号	平成14年6月24日	素屋根の設置	平成16年6月12日
大洲市教育委員会	第87号	平成14年7月29日	本丸井戸曲輪の藤棚の撤去	平成14年7月30日
愛媛県教育委員会	教文財第570号	平成14年8月30日	設備工事に伴う配管埋設等工事の内容変更(遺構の検出に伴う路線等の変更)	平成16年7月30日
大洲市教育委員会	第106号	平成14年10月18日	素屋根のワイヤー固定	平成16年6月12日
愛媛県教育委員会	教文財第45号	平成15年1月31日	設備工事に伴う台所櫓付近への配管埋設ルート選定のための発掘調査	平成15年3月28日
大洲市教育委員会	第8号	平成15年2月3日	本丸内の看板撤去	平成15年2月10日
大洲市教育委員会	第12号	平成15年3月3日	暗り門跡の祠基台の撤去	平成16年6月15日
大洲市教育委員会	第13号	平成15年3月13日	樹木(イロハモミジ1本)の伐採	平成15年3月15日
愛媛県教育委員会	15教文財第10131号	平成15年5月29日	工事見学者用プレハブの仮設置	平成16年7月30日
愛媛県教育委員会	15教文財第47号	平成15年9月11日	雨落ち溝設置工事に伴う発掘調査	平成16年5月25日
大洲市教育委員会	第4号	平成16年3月3日	第3次樹木整備計画分の樹木の伐採	平成16年3月17日
愛媛県教育委員会	16教文財第37号	平成16年4月20日	本丸地盤すきとりのための試掘調査	平成16年7月12日
大洲市教育委員会	第48号	平成16年6月7日	記念碑の移転、井戸の整備	平成16年6月10日
愛媛県教育委員会	16教文財第124号	平成16年6月10日	外構工事に伴う試掘調査	平成16年7月26日
愛媛県教育委員会	16教文財第144号	平成16年6月22日	雨落ち溝の設置	平成16年7月30日
愛媛県教育委員会	16教文財第179号	平成16年7月12日	本丸花壇石の撤去、暗り門跡付近の石積みの天端揃え	平成16年7月30日
愛媛県教育委員会	16教文財第196号	平成16年7月23日	本丸井戸曲輪・二の丸北曲輪の盛土	平成16年7月30日
愛媛県教育委員会	16教文財第227号	平成16年8月12日	ライトアップ設備の設置	平成16年8月20日
大洲市教育委員会	第69号	平成16年8月12日	安全柵・ベンチの設置	平成16年8月20日
愛媛県教育委員会	16教文財第226号	平成16年8月13日	本丸地盤すきとり、集水枳及び排水管の設置、川砂利敷き	平成16年8月20日
愛媛県教育委員会	16教文財第250号	平成16年8月25日	外灯設備、史跡説明板の設置	平成16年8月31日

第八節 事業費

一 事業内容と経費

本事業は、平成十一年度から平成十六年度までの六年間、「地域文化財・歴史的遺産活用地域おこし事業計画」を策定のもと、旧地域総合整備事業債（継続事業分）の地方債（起債）措置を行った。本事業に対する起債対象事業内容及びその経費は、以下のとおりである。

1 建築工事費		一、二八二、五五九、九九六円
〈内訳〉		
① 本体工事費	七四五、五〇〇、〇〇〇円	
② 設備工事費	八七、一五〇、〇〇〇円	
③ 木材調達費	四四九、九〇九、九九六円	
2 付帯工事（外構工事）費		九〇、五三九、〇〇〇円
〈内訳〉		
① 重要文化財台所櫓・高欄櫓修理工事費	一四、五七四、〇〇〇円	
② 外灯ライトアップ設備工事費	四六、八一五、〇〇〇円	
③ 御門番長屋復元工事費	一二、三九〇、〇〇〇円	
④ 雑工事費	一六、七六〇、〇〇〇円	
3 工事監理費		四八、七七三、〇〇〇円
〈内訳〉		
① 本体工事監理費	四〇、七四〇、〇〇〇円	
② 設備工事監理費	二、四八八、〇〇〇円	
③ 重文櫓修理工事監理費	三二六、〇〇〇円	
④ 外構工事監理費	二、一〇〇、〇〇〇円	
⑤ 復元報告書作成費	三、一二九、〇〇〇円	
4 設計費		九一、六一二、五〇〇円
〈内訳〉		
① 実施設計費	四〇、一一〇、〇〇〇円	
② 石垣改修設計費	三、一五〇、〇〇〇円	
③ 外構工事設計費	四、八三〇、〇〇〇円	
④ 重文櫓修理工事設計費	六八二、五〇〇円	
⑤ 防災・構造安全評価取得費	四二、八四〇、〇〇〇円	
5 その他		八〇、七九二、〇〇〇円
〈内訳〉		
① 二の丸用地取得費	三五、五四二、〇〇〇円	
② 内部展示費	六、九三〇、〇〇〇円	
③ 築城ジオラマ作製費	六、七二〇、〇〇〇円	
④ 事務費	三二、六〇〇、〇〇〇円	
合計	一、五九四、二七六、四九六円	
（うち起債対象事業費）	一、五九二、六〇〇、〇〇〇円	

二 財源内訳

本事業費の財源内訳は、以下のとおりである。

1	起債（充当率75%）	八五九、三〇〇、〇〇〇円
2	県補助金（木造公共施設整備事業補助金）	
		九、二〇〇、〇〇〇円
3	一般財源	一九七、六六三、〇八八円
4	市積立金等	八一、六一三、三九三円
5	寄付金	四四六、五〇〇、〇一五円
	合 計	一、五九四、二七六、四九六円

注 起債対象外経費には、一般財源を充てた。

第九節 大洲城管理計画

大洲城管理計画は、大洲城の一般公開に向け、現状の諸問題を整理し、来訪者が満足できるような管理体制を整えたものである。平成十五年十月に素案を作成し、関係機関と調整を行った後、平成十六年一月十九日に大洲城天守閣復元委員会で最終の承認を得て、計画を策定した。策定した管理計画は以下のとおりである。

一 管理区分

大洲城天守閣の一般公開に合わせ、それぞれの管理区分を次表のとおりとする。

区分		主管課	
建造物	史跡	天守・多聞	都市整備課
		台所・高欄櫓	商工観光課
		本丸	
		二の丸以下	

※なお、付近の苧綿櫓（国指定）及び下台所（県指定）は、大洲市教育委員会で管理する。

二 建物の公開

1 公開する建物

①復元建造物 天守、多聞櫓（北多聞、西多聞）
 ②重要文化財 台所櫓、高欄櫓 ※台所櫓は一階のみの公開とする。

2 公開の目的

史実に忠実な復元をした大洲城天守と多聞櫓の木組み、復元の過程等を簡易な展示と合わせ公開する。また、重要文化財の台所・高欄櫓も併せて公開することで文化財の積極的な活用を図る。

3 公開の期間、時間

期間 毎年四月一日から三月三十一日まで
 ※非公開日…十二月二十九日～三十一日
 時間 九時から十七時まで（札止…十六時三十分）

4 公開する場所、ルート

（往路） 台所櫓→北多聞櫓→天守一～四階→西多聞櫓→高欄櫓
 （復路） 台所櫓←北多聞櫓←天守一階 ←西多聞櫓←高欄櫓

5 公開の料金

- ①基本料金
 大人五百円 小人二百円（中学生以下）
- ②割引料金等
 ア 共通券 大洲城と臥龍山荘の共通券は二割引

大人八百円 小人三百円

イ 団体客 二十人以上の団体は二割引
ウ 高齢者 高齢者手帳の所持者は無料
エ 身障者 身障者及び付き添いは無料
オ 幼児 小学生未満の幼児は無料

6 内部展示、寄付者の顕彰、照明

① 内部展示の目的

来館者に対し、大洲城に対するより一層の知識を深めてもらうため復元の過程や大洲城に関する歴史等をパネル展示、映像等を用いて紹介する。

② 内部展示の内容

ア 大洲城の歴史
イ 大洲城のしくみ
ウ 復元の過程、伝統技術
エ 展示品（十分の一木組模型、築城ジオラマ、屋根壁模型等）
※武具、甲冑など文化財的価値ある展示は、管理体制上支障がある（空調なし、学芸員不在）ため一切行わない。

③ 寄付者の顕彰

十万円以上の寄付者を銅板に刻み顕彰する。銅板は、北多聞櫓に設置する。

④ 内部照明は、城郭特有の薄暗さを演出する。階段等、通路部分は明るく強調させる。

7 安全管理

① 通常期 常時三人体制
② 繁忙期 常時五人体制（※ただし、オープン直後の二カ月は七人体制）

③ 緊急時 商工観光課職員で対応

④ 身障者、高齢者のサポート

建物内部での身障者、高齢者の対応は、人的対応を原則とする。

内部展示については、天守一階の見学でほぼ全容が分かる内容にする。

8 受付業務

領収スタンプ、パンフレット渡し、電話対応、料金・券売機管理、館内外清掃、館内誘導、ガイドほか

9 パンフレット、チケット

① 無料パンフレット 受付で手渡しするための無料パンフレットを製作。

② 有料パンフレット 大洲城天守閣の復元を詳しく紹介したパンフレットを一冊二百円で販売。

③ チケット チケットを製作。チケットの販売は券売機で行う。
※受付で領収印を押印してチェックインさせる。

10 公開開始時の報告書の作製及びPR活動

① 復元報告書（学術書）

大洲城天守閣復元事業の経緯や工事報告、研究報告をまとめた調査

報告書を製作する。

② 復元記録ビデオ販売

大洲城天守閣の復元記録を二十分程度のダイジェスト版にまとめ、有料で販売する。(二巻二千元)

11 条例の設置

① 大洲城観覧料条例

② 大洲城観覧料施行規則

※平成十六年六月議会で制定。

12 管理事務所、休憩所、自販機、ゴミの処理

① 管理事務所の設置

大洲城台所櫓二階を使用

② 物産販売所の設置(臨時)

えひめ町並博二〇〇四の期間中(平成十六年九月一日から十月三十一日まで)は、二の丸(市民会館横)で物産販売所(「あさもや」)を出店。

③ 休憩ベンチの設置

史跡に影響を与えない範囲で適宜設置する。

④ 自販機、ゴミ入れの設置

景観上好ましくないので、二の丸以下での設置を検討。

13 ボランティアガイド

① 建造物内でのガイド

館内係員で対応する。

② 市内観光地のガイド

ボランティアガイドの育成を図る。

三 夜間照明(ライトアップ)及び夜間の管理

1 点灯時間

ライトアップの点灯時間は概ね次のとおりとする。(点灯開始は、日没三十分後。)

① 四月～九月 二十時～二十二時

② 十月～三月 十八時～二十二時

2 夜間の管理

① 巡回警備

警備会社に夜間一回の巡回を委託する。

② 機械警備

異常発生後、警備会社に発報するシステムとする。

四 周辺との連携

1 駐車場

① 市民会館駐車場

用途 一般駐車場として使用

台数 約五十台

管理 大洲市総務財政課管財係

料金 一時間百十円(以後三十分ごとに六十円追加)

時間 八時～二十二時

②大洲警察署跡臨時駐車場

用途 大型バス駐車場、一般駐車場として使用

台数 大型バス五台 普通車約二十台

管理 大洲市商工観光課

料金 無料

時間 九時～十七時

2 周辺道路案内表示

大洲城へのアクセスのための案内表示を六箇所整備

①大洲市民会館前 P表示

②大洲市役所横（大洲保内線） 誘導表示

③大洲市役所敷地内 誘導表示

④肱南IC（上り降り口） 誘導表示

⑤肱南IC（下り降り口） 誘導表示

⑥郵便局前 誘導表示

3 サイン設置

史跡説明板等を周辺に十九箇所設置

（総合案内板×二箇所、利用案内×一箇所、史跡説明板×六箇所、史跡表示板×八箇所、誘導表示板×二箇所）

第十節 内部展示

一 展示指針

大洲城の内部展示は、以下の理由からパネル展示等を中心とした最低限の展示物を配置することとした。

- 1 来訪者に復元した天守や現存する重要文化財の建物をできるだけ見てもらえるよう少量の展示とした。
- 2 大洲城は、専門知識を有する学芸員等が不在で、かつ空調管理のできない木造建築物のため、貴重な展示物は一切展示しないこととした。
- 3 財団法人日本建築センターに委託してまとめた「大洲城の構造安全性及び防火安全性に関する検討報告書」において、避難経路上に十分な避難スペースを確保することから少量の展示とした。

二 展示物の配置と安全性の確保

展示物は、高齢者や身障者にも安全に見てもらえるよう建物一階の展示物で展示内容のほぼ全容が分かる配置とした。解説パネル等は、万一の際に出火源とならないよう不燃性のベニヤ（ラワン防炎合板）を使用した。さらに、一部の展示物には、不審者が安易に近寄ることができないようイベントポール及び専用の消火器を設置し、安全に配慮した。

三 展示物

1 解説パネル・スタンド等

- ①内 容 主要な解説パネルは、メイングラフィックパネルとして大きめに表示した。解説スタンド等は、随所に配置した。別表「解説パネル・スタンド等一覧表」参照。

- ②原稿図版 主な解説原稿及び図版は、市担当者及び設計者が作成した。

- ③英字表記 タイトルのみの英字表記を原則としたが、長文の伴う解説は、概要も英字表記した。英字表記は、市内の英訳活動グループSGG大洲支部（代表紺田満徳氏）に依頼して作成した。なお、監修は、市内在住のジェイソン・ハリス氏に依頼した。

- ④設計作製 解説パネル・スタンド等の設計及び作製は、中村展設株式会社（東京都）が行った。

大洲城の歴史

The History of Ozu Castle

大洲城の歴史は、鎌倉時代末期、伊予国守護宇都宮景高の築いた地蔵ヶ岳城に始まると言われています。しかし、現在私たちが目にするこの大洲城は、戦国時代を経て、近世初期に大洲の地を治めた小早川隆景・伊田勝隆、幕室高虎、脇坂安治、加藤貞泰ら各大名たちの造営にちなむものです。ここでは、その歴史の過程を振り返ります。

大洲城のはじまり(1331~)
大洲はもとを意味する「伊」 という文字を用い、大津と和して「伊大津」とした。大津におけるものの語源は、元弘元年(1313)伊予国守護の宇都宮景高に遡ります。戦国末期の小早川(1568)までの237年の間宇都宮氏の所領でした。永禄11年(1568)宇都宮氏利興(毛利隆元の子)が没し、城は内野の郡野大野宮が領有するところとなりました。

小早川隆景・伊田勝隆の時代(1568~)
元弘13年(1383)、守護高虎は朝廷平定を企及します。この戦いで、大野直良の命を奪った小早川・古川連合軍に敗れた高虎、小早川隆景は、伊予85万石を与えられ地蔵月城を築城し、大洲城を築城しました。隆景が九州に転封となった天正15年(1587)、伊田勝隆が宇都宮家10万石を封ぜられ主権を大津とし、松島、松島、松島の西側に城を築きました。

幕府支配の時代(1594~)
天正15年(1587)伊田勝隆が伊田勝隆の領土(伊田・高野・松島)を伊田勝隆に譲渡した。天正15年(1587)伊田勝隆が伊田勝隆の領土(伊田・高野・松島)を伊田勝隆に譲渡した。天正15年(1587)伊田勝隆が伊田勝隆の領土(伊田・高野・松島)を伊田勝隆に譲渡した。

伊田勝隆の時代(1602~)
伊田勝隆が伊田勝隆の領土(伊田・高野・松島)を伊田勝隆に譲渡した。伊田勝隆が伊田勝隆の領土(伊田・高野・松島)を伊田勝隆に譲渡した。伊田勝隆が伊田勝隆の領土(伊田・高野・松島)を伊田勝隆に譲渡した。



脇坂安治の時代(1609~)
慶長14年(1609)、徳川家康より高虎と同じ近江出雲の島根松田守景・伊田・高野の二郡を以て5万5000石を与えられ、大津城を築城しました。これは、高虎の後、瀬戸内海防の拠点として対する拠点であったと解する見方があります。脇坂は、松田守景氏や島根松田氏を継ぎ、大津藩での治世の対策として考へられています。脇坂は、元和9年(1623)5万5000石で松田藩主として移りました。大洲城天守の基本設計を行った(伊田)守景氏は、島根松田氏と大津を離れ、伊田・高野・松島に移り、伊田・高野・松島に大津に東遷したのではないかと推定されています。

加藤貞泰の時代(1617~)
同年、前高津より加藤貞泰が6万石で大津城に入城します。以来、加藤氏の治世は松田藩主で続き、加藤氏入城の際には、すでに城の大部分はほぼ完成されていたものと推定されます。

伊田勝隆の時代(1602~)
伊田勝隆が伊田勝隆の領土(伊田・高野・松島)を伊田勝隆に譲渡した。伊田勝隆が伊田勝隆の領土(伊田・高野・松島)を伊田勝隆に譲渡した。伊田勝隆が伊田勝隆の領土(伊田・高野・松島)を伊田勝隆に譲渡した。

伊田勝隆の時代(1602~)
伊田勝隆が伊田勝隆の領土(伊田・高野・松島)を伊田勝隆に譲渡した。伊田勝隆が伊田勝隆の領土(伊田・高野・松島)を伊田勝隆に譲渡した。伊田勝隆が伊田勝隆の領土(伊田・高野・松島)を伊田勝隆に譲渡した。

The first fort was built here in 1331 by Utsunomiya Toyofusa whose ancestors are enshrined in Utsunomiya Jinja in Goro. The castle's location was an important orientation point from the Hiji River. The second Lord, Yoda Taketane, was sent to Ozu by Hideyoshi the Great. In 1598, probably to command the water ways through the Seto Inland Sea toward the continent of Korea. The lord here, Wakasaka Tadamasa, was also intended to keep vigilance toward Fukushima Masamori on the other side of the sea. Mr. Shigetaka Miyakawa, who drew the first design for the tower reconstruction, assumed the main tower had been brought here from Sunto in Awaji. Then, unfortunately, in the 21st year of Meiji, 1888, the main tower was destroyed.



大洲城年表

Chronological Table of Ozu Castle

国内事項

● 徳川幕府が成立
● 徳川幕府が成立
● 徳川幕府が成立

● 徳川幕府が成立
● 徳川幕府が成立
● 徳川幕府が成立

● 徳川幕府が成立
● 徳川幕府が成立
● 徳川幕府が成立

● 徳川幕府が成立
● 徳川幕府が成立
● 徳川幕府が成立

● 徳川幕府が成立
● 徳川幕府が成立
● 徳川幕府が成立

大洲城関連事項

● 大洲城が成立
● 大洲城が成立
● 大洲城が成立

● 大洲城が成立
● 大洲城が成立
● 大洲城が成立

● 大洲城が成立
● 大洲城が成立
● 大洲城が成立

● 大洲城が成立
● 大洲城が成立
● 大洲城が成立

● 大洲城が成立
● 大洲城が成立
● 大洲城が成立



解説パネル・スタンド等一覧表

【メイングラフィックパネル】

No	タイトル	内 容	形状寸法	数量
1	元禄五年大洲城絵図	元禄五年大洲城絵図を原寸で展示	解説・写真・図版 W1750×H1750	1
2	大洲城年表	年表	解説・写真・図版 W750×H1720	1
3	大洲城の歴史	大洲城の歴史を解説	解説・写真・図版 W1450×H1720	1
4	城の縄張り	大洲城の縄張りを解説	解説・写真・図版 W750×H1720	1
5	天守の特徴	天守の特徴を解説	解説・写真・図版 W750×H1720	1
6	天守大きさをくらべ	他の天守との高さをくらべ	解説・写真・図版 W750×H1720	1
7	天守の復元	天守復元に必要とした史料等の解説	解説・写真・図版 W750×H1720	1
8	復元のあゆみ	復元の経過を写真を用いて解説	解説・写真・図版 W750×H1720	1
9	伝統技術を受け継ぐ	伝統工法について解説	解説・写真・図版 W750×H1720	1
				9

【解説スタンド】

No	タイトル	内 容	形状寸法	数量
1	元禄五年大洲城絵図解説	元禄五年大洲城絵図の解説	解説・写真 W200×H300	1
2	復元天守の木組雛形	復元天守の10分の1木組み模型の解説	解説 W150×H150	1
3	台所櫓	台所櫓の解説	解説スタンド W250×H250	1
4	鉄炮狭間	鉄炮狭間の解説	解説スタンド W250×H250	1
5	心柱	心柱の解説	解説スタンド W250×H250	1
6	吹き抜け	吹き抜けの解説	解説スタンド W250×H250	1
7	火灯窓	火灯窓の解説	解説スタンド W250×H250	1
8	屋根断面模型	天守の屋根・壁の断面を解説	解説スタンド W400×H400	1
9	高欄櫓	高欄櫓の解説	解説スタンド W250×H250	1
10	石落とし	石落としの解説	解説スタンド W250×H250	1
11	梁	木曳き式に使用した梁材を解説	解説スタンド W250×H250	1
12	木組み	木組みの様子を解説	解説スタンド W250×H250	1
13	柱材－天守1階－	天守1階の柱の名付け図	解説スタンド W400×H400	1
14	柱材－天守2階－	天守2階の柱の名付け図	解説スタンド W400×H400	1
15	柱材－天守3階－	天守3階の柱の名付け図	解説スタンド W400×H400	1
16	柱材－天守4階－	天守4階の柱の名付け図	解説スタンド W250×H250	1
17	上棟祭用具	天守4階の上棟祭の用具を解説	解説スタンド W250×H250	1
18	ご注意ください！	観覧する際の注意事項を表示	置型サイン W250×H250	1
19	城内案内図	平面図により城内を案内表示	スタンドサイン W375×H300	1
20	左側通行・急勾配注意	階段での注意事項を表示	サイン W150×H150	9
				28

【表示パネル】

No	タイトル	内 容	形状寸法	数量
1	復元の趣旨	顕彰板の解説表示	解説 W710×H466	1
2	大洲城築城ジオラマ	ジオラマモデル（築城風景）の表示	解説 W450×H150	1
3	大洲城築城ジオラマ	ジオラマモデル（山・川での作業風景）の表示	解説 W450×H150	1
4	天守鯨	天守鯨の解説	解説スタンド W250×H250	1
5	天守1階心柱の断面	心柱の断面を解説	W150×H150×D5	1
6	土台に使用した栗材の断面	栗材の断面を解説	W150×H150×D5	1
7	梁に使用した松材の断面	梁材の断面を解説	W150×H150×D5	1
8	大洲城観覧のご案内	観覧料等の案内表示	サイン W500×H750	1
9	監視カメラ作動中	監視カメラの表示	サイン W250×H250	1
10	頭上ちょんまげにご注意ください！	頭上注意の表示	サイン W300×H150	2
				11

【その他】

No	タイトル	内 容	形状寸法	数量
1	大洲のまちの展望紹介台（西側）	高欄櫓2階からの展望を解説	写真 W1200×H450	1
2	大洲のまちの展望紹介台（南側）	高欄櫓2階からの展望を解説	写真 W1200×H450	1
3	木材展示台	木材の断面を展示するための展示台	W2400×H300×D900	1
4	鯨展示台	鯨を展示するための展示台	W900×H450×D450	1
				4

2 大洲城築城ジオラマ

①内 容 城郭復元の伝統工法を来訪者に分かりやすく紹介するため、展示物の目玉として大洲城が創建された当時の様子を十分の一サイズのジオラマ（情景模型）で再現した。

ジオラマの製作は、造形作家の南條亮氏（大阪府）に依頼した。

②人形製作 ジオラマに登場する約百二十体の人形のうち五十体は、人形の顔モデルを一般公募した。残りの人形は、工事に携わった職人等をモデルとした。

へジオラマモデル募集結果へ

○募集期間 平成十六年二月十日～三月十五日

○応募者 一二五通

○応募者内訳 男性九〇人 女性三五人

（市内七二人 県内三七人 県外一六人）

○当選者内訳 男性四三人 女性七人

（市内二七人 県内一六人 県外七人）

○その他 当選者は、人形製作費一万円を負担した。人形の背中には、当選者が指定する背文字を表示した。ジオラマの説明パネルには、当選者の住所・氏名と背文字を表示した。

④設計製作 ジオラマの設計及び製作は、株式会社デイグ（大阪府）が行った。



大洲城築城ジオラマモデル募集記者発表の様子（中央：南條氏）
（H16.2.10）



大洲城築城ジオラマ
(築城の風景)



大洲城築城ジオラマ
(山・川での作業風景)

第十一節 案内板、史跡説明板等の設置

県指定史跡「大洲城跡」保存整備計画に基づき、案内板、史跡説明板等（サイン）の設置を行った。

一 案内板、史跡説明板等の概要

1 意匠及び設置場所

案内板、史跡説明板等の意匠は、城跡と区別した現代風の意匠を採用した。設置場所は、来訪者の目につきやすい、かつ事前の発掘調査で遺構に影響のない箇所に設置した。史跡説明板等は、主要な建造物及びその跡等を選定し設置した。なお、意匠及び設置場所の選定にあたり、大洲城天守閣保存管理専門委員会（平成十六年二月十三日開催）の承認を得た。

2 種類 （合計 十九基）

- ① 総合案内板 （二基）
「周辺案内図」、「大洲城の沿革」
- ② 利用案内板 （一基）
「大洲城利用案内」
- ③ 史跡説明板 （六基）
「櫓下御門跡」、「下台所」、「暗り門跡」、「井戸丸と石垣の修復」、「苧綿櫓」、「三の丸南隅櫓」
- ④ 史跡表示板 （八基）

- 「北の菱御門跡」、「御門番長屋」、「玉櫓跡」、「鉄炮櫓跡」、「かま櫓跡」、「二の丸御殿跡」、「本丸廻り櫓跡」、「水の手櫓・水の手御門跡」
- ⑤ 誘導表示板 （二基）
「中江藤樹像・天守・トイレ」、「天守・苧綿櫓」

2 現状変更許可

案内板、史跡説明板等の設置に伴い、愛媛県教育委員会で史跡の現状変更許可を得た。（平成十六年八月二十五日、愛媛県教育委員会指令十六教文財第二五〇号）

3 説明文の作成

説明文は、大洲市教育委員会の指導のもと、市担当者及び設計者で作成した。英字表記は、内部展示と同様、タイトルのみの英字表記を原則としたが、長文の伴う解説は、概要も英字表記した。英字表記の作成は、市内の英訳活動グループSSGG大洲支部（代表紺田満徳氏）に依頼した。なお、監修は、市内在住のジェイソン・ハリス氏に依頼した。



DESIGN	東京 3466-0248 TEL 3466-0248
DRAW	大塚 6443-3137 大塚 6443-3137
CHECK	静岡 053-457-3750 静岡 053-457-3750





備考	DESIGN	東京 03-3496-0248 FAX 03-3770-0839 大阪 06-6443-3157 静岡 053-457-3750	大津城天守閣元工事に使うサイ工工事	大津城天守閣元工事に使うサイ工工事	DATE	16
	DRAW	一般建築士事務所設計第10258号	房	B3建築図版 要図 / B3建築図版 (B2) 表示		A-09
	CHECK	一般建築士会第59809号富士川仮橋	三	SCALE	5=1: 00	

B-5

720

しも だい どころ
下台所

Ozu Castle Storehouse (Prefectural Cultural Landmark)

県指定有形文化財（建造物）
大洲城に残る当時の建造物は、重要文化財の4つの櫓とこの下台所のみです。城内の食料庫としての機能を果たしていたとされています。建物の内部は一部が腐建で、切妻造、本瓦葺、桁行19.82m、梁間7.90mの大きな、外周は軒裏をふくめ漆喰塗込めの建物です。

所有：大洲市

指定年月日：昭和43年3月8日
This building was used as a storehouse.



S=1/5

B-20

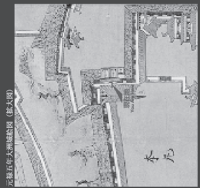
720

くちらが
暗り門跡

Site of Kuragari Mon Gate

この門は、天守に到る最後の城門で城内でも最も大きい櫓門です。現在と異なり、かつては門の正面に石垣が立ちばだけり、左に折れて石段を登ると台所櫓の前に出るようになっていました。通常の櫓門と異なり、折れ曲がり部分の上に渡櫓が覆いかぶさり、文字通り内部は「暗り」になっていた。仮に門を破られても、突き進んで来た敵兵の勢いをそぎ、暗りの中で混乱しているところを攻撃する仕掛けになっていたと思われる。発掘調査では、正面の石垣の一部と石段およびその側溝が確認されました。

This stone wall was unearthed during excavation.



S=1/5

備考

DESIGN	大洲城天守閣復元工事に伴うサイン工事
DRAW	大洲城天守閣復元工事に伴うサイン工事
CHECK	大洲城天守閣復元工事に伴うサイン工事

一級建築士事務所 藤井 10258号
一級建築士事務所 藤井 5980号 富士川事務所

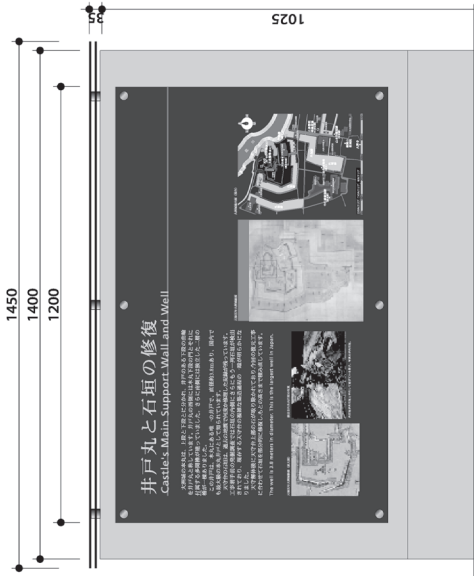
三 宿 工 房

〒 03-3496-0248
TEL 03-3770-0888
FAX 03-3770-0888
〒 06-6443-3157
TEL 06-6443-3157

大洲城天守閣復元工事に伴うサイン工事
B-5B-20 表示図
SCALE S=1/500
DATE 16

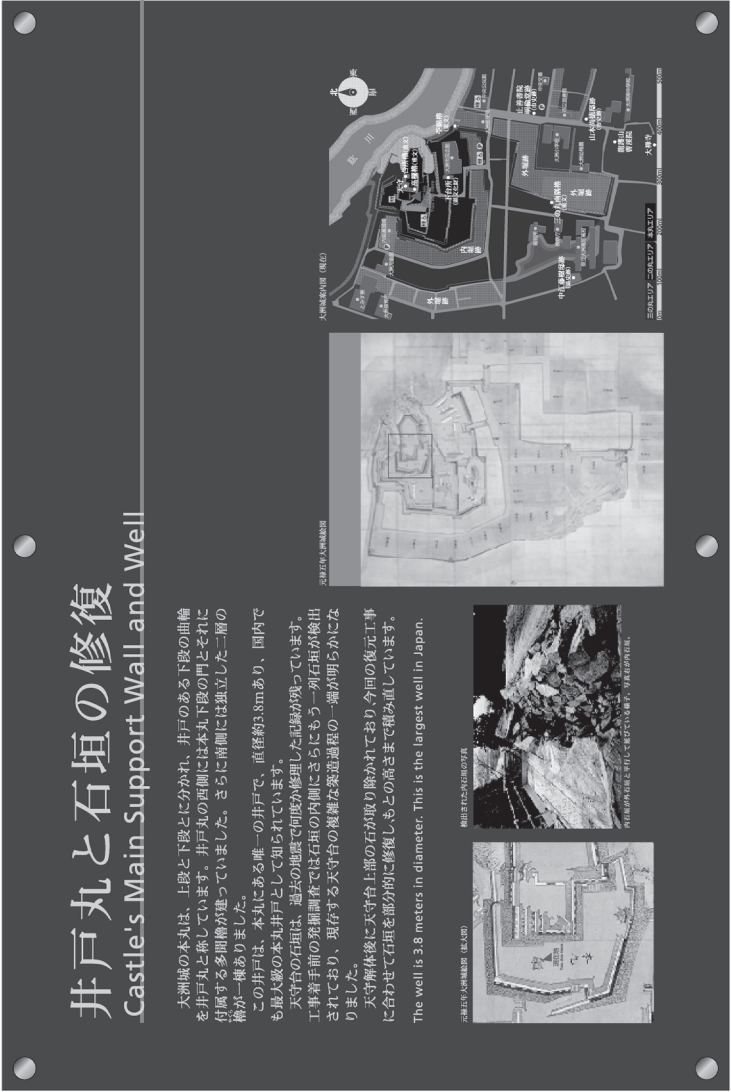
史跡説明板「井戸丸と石垣の修復」

B2 史跡説明板 (B2-18) 1枚



▽GL

B2-18



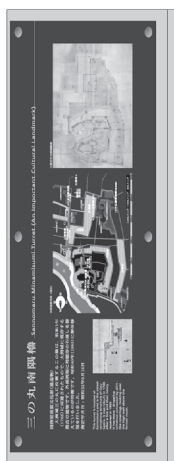
備考	DESIGN	大洲城天守閣復元工事に伴うサイン工事			
	DRAW	B2史跡説明板 (B2-18) 説明・表示図			
	CHECK	SCALE S=1:00 DATE 16 A-11			



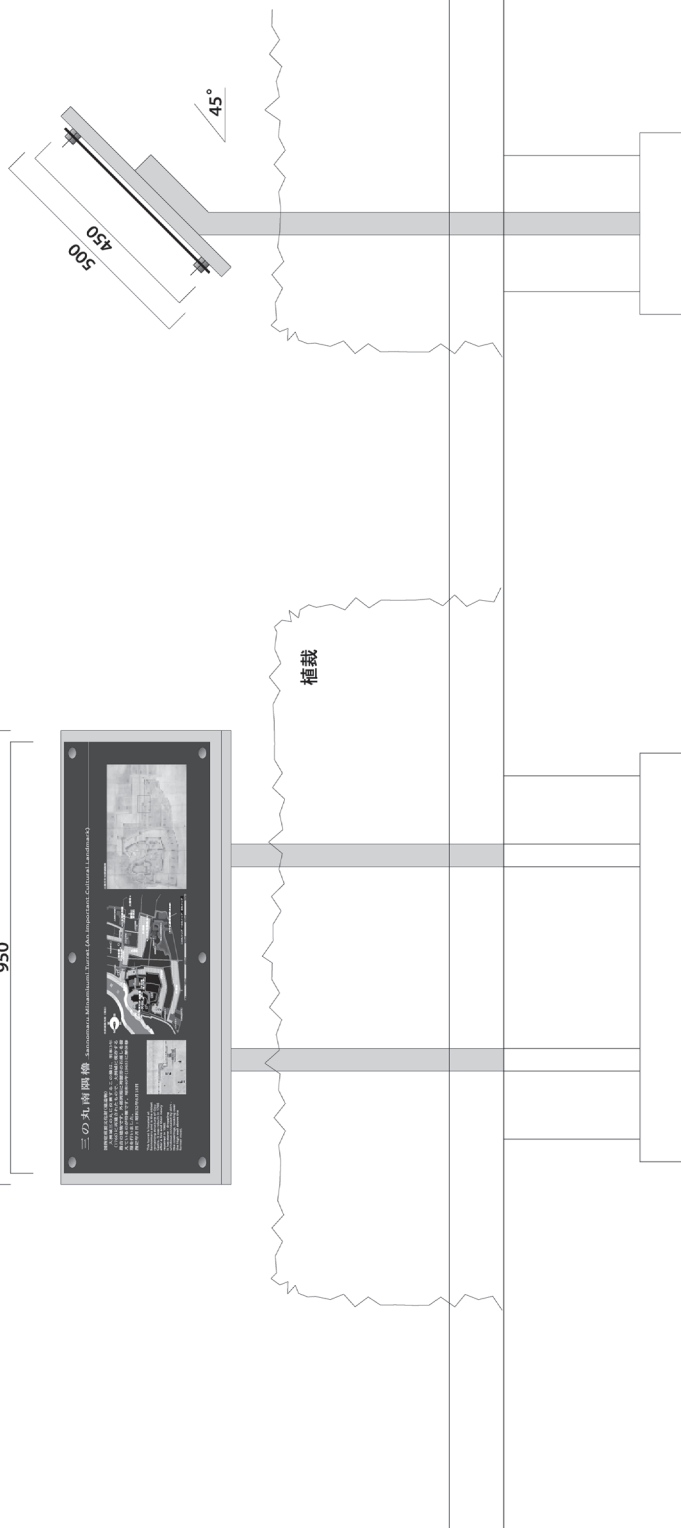
DESIGN	東 0.3-34.9-0248 一級建築士事務所登録第10258号	三 二 工 房 大洲地区下水道衛生工事に伴うサイン工事	A-12 DATE 16
DRAW	FAX 03-3770-0839 一級建築士登録第59809号 富士川俊輔		
CHECK	大 塚 06-6443-3157 B2級建築師 (B2-25) 表示図 静 岡 053-457-3750		
	SCALE S=1:100		



1000
950



植栽



本 体：ステンレス t2.08角鋼管加工
フッ素樹脂塗装マット仕上AN-75
表 板：アルミ t5フッ素樹脂塗装仕上AN-20
グラデスフィルム貼り片面
化粧ボルト：ステンレスバイブレーション仕上げ
浮かせ取付

備考

DESIGN
DRAW
CHECK

一般建築士事務所登録第10258号
一般建築士登録第5909号 富士川俊輔

三 宿 工 房

東京 03-3496-0248
FAX 03-3770-0899
大 阪 06-6443-3157
神 戸 053-451-3750

大津城天守閣復元工事に伴うサイン工事
E史跡説明板

SCALE S=1:00

DATE

16

A-15

史跡説明板「三の丸南隅櫓」



誘導表示板

同	同	大洲城天守閣復元工事発注
同	同	御用木お披露目式

平成十四年

	同	木工事着工
	同	基礎工事着工
	同	木曳き式
	同	素屋根（仮設足場）設置
	同	設備工事着工
平成十五年	十二月 一月	第一回一般見学会 瓦製作開始
	四月	上棟式、第二回一般見学会、 瓦記名会
	六月	外構工事着工
	八月	第三回一般見学会
	十一月	第四回一般見学会
平成十六年	二月	第三次樹木整備
	五月	一昼城（素屋根解体）
	七月	大洲城天守閣復元工事竣工
	八月	ライトアップ点灯開始
	同	先行公開（プレオープン）
	九月	完成記念式典、一般公開開始

二 復元映像の記録

本事業に係る映像の記録は、株式会社ケーブルネットワーク西瀬戸に委託して実施した。

- 1 記録期間 平成十年十一月一日から平成十六年十一月五日まで
- 2 記録映像 別表「復元記録映像一覧表」のとおり
- 3 成果品

①ダイジェスト版

- タイトル 「平成の城普請〜大洲城天守の復元〜」
- 収録時間 十八分
- 販売価格 二千円
- その他 ナレーションあり、ビデオ・DVDそれぞれ五百個作製

②全記録版

- タイトル 「大洲城復元の全記録」
- 収録時間 九十分
- 販売価格 販売なし
- その他 ナレーション一部あり

復元記録映像一覧表

No	撮影日	テープ種類	内 容
1	平成10年11月1日	D V C P R O	ボーリング調査
2	平成11年1月12日	D V C P R O	御杣始め式
		D V	〃
3	平成11年1月28日	B E T A C A M	天守閣付近現地調査
4	平成11年2月1日	B E T A C A M	調査開始 木材伐採・電柱移動
5	平成11年2月17日	B E T A C A M	礎石調査
6	平成11年3月18日	D V	第1回発掘調査現地説明会前レクチャー
7	平成11年3月20日	D V	第1回発掘調査現地説明会
8	平成11年4月22日	D V C P R O	第6回復元委員会
9	平成11年7月5日	B A T E C A M	保存管理専門委員会・伐採樹木現地調査
10	平成11年8月20日	B A T E C A M	石垣調査
11	平成11年11月14日	B A T E C A M	第2回発掘調査現地説明会
12	平成12年3月15日	B A T E C A M	第1次樹木整備
13	平成12年7月31日	D V	第8回復元委員会・専門委員会
14	平成12年8月5日	D V	石垣耐力度調査
15	平成12年10月31日	D V C A M	木材調達（新谷公益会）
16	平成13年2月13日	D V C A M	木材保管倉庫建設
17	平成13年7月18日	D V C A M	製材風景（大洲製材）
18	平成13年7月27日	D V C P R O	ラジコンヘリによる石垣図化作業
19	平成13年9月30日	D V C A M	御用木お披露目式
20	平成13年10月4日	D V C P R O	石垣指導（広島大学三浦正幸教授）
21	平成13年10月15日	D V C A M	天守台石垣（西面）発掘調査
22	平成13年12月14日	D V C A M	第2次樹木整備
23	平成14年2月5日	D V C A M	起工式
24	平成14年2月22日	D V C A M	基礎工事・木曽材の調達
25	平成14年3月13日	D V C A M	基礎工事（アースドリル）
26	平成14年3月15日	D V C A M	梁材撮影（加工場）
27	平成14年4月24日	D V C A M	柱材芯抜き（福井県）
28	平成14年5月8日	D V C A M	基礎型枠完成
29	平成14年5月13日	D V C A M	基礎コンクリート打設完了
30	平成14年5月29日	D V C A M	石垣はつり作業
31	平成14年6月1日	D V C A M	木曳き式
		D V C P R O	〃
32	平成14年6月6日	D V C A M	石垣据え付け（隅石・中石）
33	平成14年7月17日	D V C A M	素屋根工事・栗材加工
34	平成14年8月1日	D V C A M	イルミネーション
35	平成14年9月11日	B A T E C A M	素屋根最上部より、工程会議、たたき検討
36	平成14年9月14日	D V C A M	たたき施工（現場）
37	平成14年9月16日	D V C A M	たたき練り合わせ（城ノ戸技建）
38	平成14年9月25日	D V C A M	木工事（土台）・多聞解体
39	平成14年9月30日	D V C A M	土台完成
40	平成14年10月4日	D V C A M	立柱式
41	平成14年10月4日	D V C A M	原寸図作成（加工場）
42	平成14年10月15日	D V C A M	1階木組み
43	平成14年10月16日	D V C A M	1階木組み
44	平成14年10月18日	D V C A M	1階木組み完了

No	撮影日	テープ種類	内 容
45	平成14年11月15日	D V C A M	2 階梁材仮組み（大竹）
46	平成14年11月28日	D V C A M	4 階棟木伐採（如法寺）
47	平成14年12月 3 日	D V C A M	壁土練り風景、二階木組み開始
48	平成14年12月 9 日	D V C P R O	壁土づくり（五十崎）
49	平成14年12月12日	D V C A M	2 階木組み完成
50	平成14年12月20日	D V C A M	2 階木組み完成俯瞰
51	平成14年12月21日	D V C A M	一般見学会
52	平成15年 1 月24日	D V C A M	3 階木組み終了、(有)越川工務店越川辰蔵会長見学
53	平成15年 2 月14日	D V C A M	和釘調整（加工場）
54	平成15年 2 月28日	D V C P R O	和釘調整 2 回目（現場）
55	平成15年 3 月14日	D V C A M	漆喰作り・壁土練り返し（城ノ戸技建）
56	平成15年 4 月 4 日	D V C A M	上棟式 1 階メインカメラ
		B E T A C A M	上棟式 4 階カメラ
		D V C P R O	上棟式 1 階サブカメラ
57	平成15年 4 月 6 日	D V C A M	上棟イベント
58	平成15年 4 月30日	D V C A M	竹小舞
59	平成15年 6 月 3 日	D V C A M	土壁作り 破風仕上げ
60	平成15年 6 月 5 日	D V C A M	軒裏土壁塗り
61	平成15年 6 月19日	D V C A M	土居葺き
62	平成15年 7 月17日	D V C A M	4 階記名瓦葺き、3 階銅板葺き、1 階長押
63	平成15年 7 月21日	D V C A M	4 階屋根 北・西面
64	平成15年 8 月 6 日	D V C A M	鯨載せ
65	平成15年 8 月29日	D V C A M	多聞櫓・唐破風・壁塗り・2 階床
66	平成15年 9 月19日	D V C A M	4 階床板・2 階床板
67	平成15年 9 月27日	D V C A M	川島恒夫氏
68	平成15年10月 9 日	D V C A M	1 階床板・3 階床板
69	平成15年11月 7 日	D V C A M	1 階・4 階下見板
70	平成15年11月23日	D V C A M	第 4 回一般見学会 2 万人達成
71	平成15年12月 7 日	D V C A M	3 階唐破風・川島会長作業
72	平成16年 2 月26日	D V C A M	破壊検査（筑波研究所）
73	平成16年 3 月12日	D V C P R O	白鷹氏釘打ち風景
74	平成16年 3 月26日	D V C A M	垂木砂漆喰塗り
75	平成16年 3 月27日	D V C A M	垂木白漆喰仕上げ
76	平成16年 4 月21日	D V C A M	3 階壁漆喰仕上げ
77	平成16年 4 月26日	D V C A M	西多聞砂漆喰仕上げ
78	平成16年 5 月11日	D V C A M	竣工検査（本体主要部）
79	平成16年 5 月19日	D V C A M	天守雛形・御城中御屋形絵図並地割図等（市立博物館）
80	平成16年 5 月22日	D V C A M	素屋根撤去 1
81	平成16年 5 月25日	D V C A M	素屋根撤去 2
82	平成16年 5 月26日	D V C A M	素屋根撤去 3
83	平成16年 7 月12日	D V C A M	天守内部完成
84	平成16年 8 月13日	D V C A M	大洲城空撮
85	平成16年 8 月14日	D V C A M	先行公開（プレオープン）
86	平成16年 9 月 1 日	D V C A M	完成記念イベント
87	平成16年11月 5 日	D V C A M	5 万人達成

第十三節 一般公開

一 先行公開（プレオープン）

平成十六年八月十四・十五日の両日、一般公開前にお盆期間中の帰省客にも復元した大洲城を見てもらおうと先行公開を開催した。

1 期 日	平成十六年八月十四日（土）・十五日（日）
2 内 容	建物内部の公開（但し、内部展示なし） 余り材（端材）の販売
3 整理料	大人三百円、小人百円
4 参加者	合計 五、四二〇人
・十四日	大人一、五〇九人 小人三三六人 高齢者等三七五人 計 二、二二〇人
・十五日	大人二、〇七二人 小人四五六人 高齢者等六七二人 計 三、二〇〇人

二 一般公開

平成十六年九月一日から一般公開を開始した。平成十七年三月末までに五万八千人の集客を目標としていたが、平成十六年十一月で目標人数を超えることができた。

1 月別観覧客数調べ

平成十六年九月	二三、一四六人
同 十月	二四、四二一人（累計四七、五六七人）
同 十一月	一七、八一一人（累計六五、三七八人）

2 五万人達成

平成十六年十一月五日、大洲城の観覧客数が五万人を達成した。五万人目となった大分県佐賀関町の影浦広義さんに榊田市長が認定証と大洲城グッズを贈った。



5万人目の影浦さん（左）と榊田市長（右）

三 大洲城の活用例

1 川舟の運行

大洲城のすぐ傍を流れる肱川を利用し、川舟を運行。川舟から見上げる天守の姿は絶景である。



川舟の運行

2 お成り（大名行列）

平成十六年十月二十四日、大洲城を活用したイベントとして「お成り」（大名行列）が開催された。毎年恒例の伝統行事「お成り」。かつては武士達が前衛、後衛としてお宮の行列を守護しながら共に歩いていた。その武士集団が「城隊」として復活し、町中を練り歩いた。



「お成り」を守護する武士集団「城隊」が復活し、行列に加わった。

